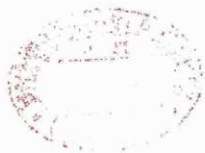


# 豊後國田染莊の調査

## II

大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 報告書第6集

**1987**



## 例 言

1. 本書は、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館が、昭和56年度より行なっている国庫補助事業「国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査の報告書第2集」である。
2. 調査対象地域は、宇佐宮領豊後国田染荘の故地であった豊後高田市の大字嶺崎・真中・平野・上野・相原・池部・路である。
3. 本書の編集は海老澤 衷があたった。
4. 本書執筆は
  - I 海老澤 衷
  - II 1 海老澤 衷
  - 2 海老澤 衷
  - 3 山田 拓伸
  - 4 久恒 章子が担当した
5. 渡辺遼夫編『豊後国田染荘・田原別符史料』（別府大学図書館 1985年）はこの報告書と密接な関連を有し、引用の際には『田染荘史料』と略称した。
6. 附図の作成にあたっては、
  - 1 真野 和夫
  - 2 渡辺 文雄
  - 3 甲斐 忠彦
  - 4 出田 和久
  - 5～13 久恒 章子が担当し、川島 東子が協力した。
7. (附) 豊後国田染組村々絵図については『国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報 豊後国田染荘II』（大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館1984年）を参照のこと。

# 目 次

I 調査の目的・方法および経過 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査団の構成 .....	1
3 調査の方法 .....	1
4 調査経過の概要 .....	1
II 調査の成果 .....	3
1 文献資料からみた田染 .....	3
<1> 実名・法名索引 .....	4
<2> 通称・官途名索引 .....	11
<3> 有姓無名索引 .....	17
2 地名資料からみた田染 .....	19
(1) 近代の地名 .....	19
(2) 中世史料に見える名・耕地・屋敷 .....	26
3 近世の墓地と墓碑 .....	33
4 明治21年土地利用図と小字境界図 .....	53
(附) 豊後国田染組村々絵図 .....	59



## 附 図 目 次

- 1 田染地域小字境界図 (1:10,000)
- 2 田染地域の神社・城館と石造文化財 (1:10,000)
- 3 田染地域灌溉概況図 (1:10,000)
- 4 村落景観復原図 (元禄2年村絵図による)(1:10,000)
- 5 跡地区灌溉詳細図 (1:2,000)
- 6 嶺崎地区灌溉詳細図其ノ一 (1:2,000)
- 7 嶺崎地区灌溉詳細図其ノ二 (1:2,000)
- 8 嶺崎地区灌溉詳細図其ノ三 (1:2,000)
- 9 嶺崎地区灌溉詳細図其ノ四 (1:2,000)
- 10 戸原地区灌溉詳細図 (1:2,000)
- 11 大曲地区灌溉詳細図其ノ一 (1:2,000)
- 12 大曲地区灌溉詳細図其ノ二 (1:2,000)
- 13 熊野地区灌溉詳細図 (1:2,000)

## I 調査の目的・方法および経過

### 1 調査の目的

大分県豊後高田市田染地区は、宇佐八幡宮のいわゆる「本御荘十八箇所」のひとつである田染荘の跡として知られている。この地域については「永弘文書」等に多くの中世史料があり、現地もまた往時の状況をよく残している。荘園村落遺跡としてもきわめて注目すべき地域である。

このような田染地区にも、園場整備事業が計画され、すでに一部で実施段階に入っている。この調査は、このような事態に対応するため、田染地区の荘園村落の復原的調査を行い、その遺跡としての価値を明らかにし、もって遺跡保存等の資料とするものである。

いまでもなく、荘園村落の遺跡と遺構は、例えば、現在の集落や耕地の下に、埋蔵された状態でのみ存在するわけではない。我々の前にある村落の家屋敷、耕地の畔や土手、井堰や井路、墓地や堂宇等が、そのまま荘園村落の遺構である場合も考えておかなねばならない。またこれらの遺構は、単純に荘園制下の遺跡として、前後の時代の遺跡と分離されて存在することは少ない。そもそも我々の前にある景観としての村落そのものが、その村の歴史の全体を証言する〈遺跡〉である可能性が大きいのである。従って荘園村落の復原的調査はその地域の村落史の全体を視野に入れて進められなければならない。またその遺跡としての価値を正しく把握するためには、考古学的分布調査に加えて、歴史、地理、民俗等の関連諸科学の協力が必要となる。そのいずれを欠いても、遺跡としての正確な把握は難しいという事情がある。

この調査では、こうした点をふまえ、考古学的分布調査を中心として、関連諸分野の調査員による総合的調査をめざすこととした。

また調査のテーマも、田染荘の復原的調査という点にとどまらず、地域の現状が〈村落の遺跡〉としてどれだけの価値をもつのかという点に重点を置いた。現地の調査活動の主力が、現状の記録という点に注がれたのもこのためである。

昭和53年10月1日の地方史研究全国大会において、「園場整備事業に対する宣言」が出され、園場整備にかかる水田そのものの記録保存について多角的な調査の必要性が強く訴えられた。現在では、これらの水田を中心とする条里制や荘園村落に関する遺跡は「広域水田遺跡」と総称されている。広域水田遺跡の調査と保存については、探索段階にあり、今回の調査が、その一助となることを願うものである。

### 2 調査団の構成

61年度新たに次の1名が調査員に加わった。

久恒章子 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館嘱託

### 3 調査の方法

『豊後園田染荘の調査 I』参照。

### 4 調査経過の概要

6月6日打ち合せ会。『豊後園田染荘の調査 II』の内容等について協議。6月7日午前10時よりバ

ネルディスカッション「荘園村落遺跡の調査と保存」を開催。渡辺澄夫「荘園史研究史上における田染荘」、八賀晋「古代の桑里制と水田開発」、後藤宗俊「広域水田遺跡の調査と保存」の報告があり、調査関係者のほか報道関係者を含めて討論が行なわれた。6月7日午後1時より公開シンポジウム「中世のムラを歩く」を開催。石井進「田染荘を歩く」、服部英雄「現地調査の方法による荘園史研究一用を素材として」があり、210名の参加者を得て熱心な討議が行なわれた。以上の内容については当館発行の『研究紀要第3集 特集・荘園村落遺跡の調査と保存』に収録される。6月中旬より補充調査を行ない、3月31日『豊後国田染荘の調査 II』を刊行。

## II 調査の成果

### 1 文献資料からみた田染

ここでは、田染荘にかかわった人物を『田染荘史料』から抽出して示した。索引の形にしたので、大方の御利用を望むものである。

#### 凡 例

- 1 人名は、①実名・法名 ②通称（あるいは一般の男女子名）・官途名 ③有姓無名、に分けて収録した。
- 2 女子名は別に設けず、それぞれの項に収録した。
- 3 官途名は、位階、社寺の位・職は除いた。
- 4 ②は本史料中に数見されるもののみで、前任や途中の変化は共通項だけにとどめた。
- 5 配列については、①漢音訓み五十音順、②③は五十音順とした（同音漢字の場合は画順）。
- 6 数字は『田染荘史料』の文書番号である。
- 7 本索引は若干史料中の人名比定と相違するものもあるが了承されたい。
- 8 重行／幸とあるのは同一人物が「重行」・「重幸」として史料上にあらわれることを示す。

#### 漢 音 索 引

あ 安  
 い 惟 維 一  
 う 宇  
 え 永 榮 影 益 円 延 遠  
 か 家 鑑 寛 観  
 き 其 基 義 吉 久 休 宮 居 郷 興  
 け 桂 経 景 慶 玄 建 堅 元 晋 殿  
 こ 公 弘 広 光 行 幸 高 康 教 綱 国  
 さ 佐  
 し 氏 時 嗣 資 実 室 手 秀 寿 俊 春 諸 尚 昌 昇 常 紹 勝 種 繩 息  
 職 心 信 神 親 随  
 せ 正 西 性 政 浄 清 盛 聖 寂 仙 佑 宣 専 然  
 そ 祖 宗 則 尊

た 泰内  
ち 治智仲著忠長重朝澄直鎮  
て 定貞  
と 通統道能  
は 範繁満  
ひ 妙  
ふ 豊  
ほ 邦奉房法宝保蓮木  
め 明  
ゆ 友右有祐融  
よ 養  
ら 頼  
り 利隆了良竜  
れ 蓮

〈1〉 実名・法名索引

あ

安養(大佐井)	432・433	永弘(佐保)	295・445
安弘	362	永兵	101
安守(字佐)	89	永賢(伊美)	153・155
		永明(令官)	182
		永範(藤原)	3
い		永輔(令官)	309・328
惟永(永正)	281	永輔	146・263
惟榮(野田)	222・223	永武	182
惟久(永正)	410・411・412・460	永房(令官)	256・302
惟臣(松崎)	534・548	永明	146
惟氏(真玉)	61・63・65	永りう	419
惟世(永正)	232・246・305・411・412	栄見(田染)	365・403・404・405・409・439・
惟定(永正)	531・532・540・542・548		452・453・455・458・462・467
惟重(永正)	228・232・233・315・322・448	栄綱	239
惟平	205	栄佐(永弘)	252・278・279・283・285・297・
維宗(忍海)	174		298・300・301・308・326・328・
一曇 → 吉弘氏輔			331・335・336・337・338・340・
			341・342・343・346・347・348・
う			352・353・355・356・357・358・
宇輔(益永)	80・82・83・445		359・361・370・371・374・375・
			382・396・398・522
え		栄忠(田染)	115・117・300・324・328・329・
永家	146		333・339・342・343・344・347・
永基	88		348・350・351・352・353・357・
永兼	172		

358・359・361・363・364・365・	基弘(字佐)	45・46・50・54	
366・367・368・370・372・373・	基守	55	
374・376・377・378・379・382・	基平(字佐)	21	
383・384・386・387・388・390・	基輔	3	
406・407・409・410・411・414・	義範(六友)	517・528・545	
416・425・429・431・432・436・	義輝(足利)	549	
437・438・439・442・445・447・	義時(北条)	9	
474・479・480・481・489・522	義隆(足利)	171・187	
栄重(田染)	9・175・217・226・227・228・229・	義長(六友)	583
	231・237・239・241・245・251・	義統(六友)	589・595・596・598・601
	252・253・255・267・278・281・	吉基(字佐)	21・26・59・64・65・66・72・74・
	282・283・293・294・295・301・		169
	305・311・312・318・323・324・	吉近	14
	326・344・360・373・384・411・	吉兼 <sup>a</sup>	303
	412	吉親(基)	64・66・73・77
栄定	13・263	吉増 → 永正惟重	
栄定 → 田染栄忠		久重(善志田)	130・152・157・159・163・194・
栄輔(益永)	563		195・218・263
影光	205	久重(田染)	237・277・319・320・345・401・
益輔	56		402・413
円位	40	久澄(尾崎)	62
延行	283	久差(永野)	323
円座(間声寺)	542	久明親王	48
清輔	101	休円(吉弘)	544・573・574・578・579
		吉基	101
		吉久	146
		吉繁	168・256
		吉氏(今永)	365・409・439
		吉政	101
		吉盛(今永)	256
		吉増	256・300・302・309・328・348・
			451
		吉比(祝)	101・146・182
		原輔	182
		綱輔	164
		興濟	122
か		け	
家氏	139・140	桂林院大體正	6
家突(近衛)	13	経久	543
家忠	118	経清(波多野)	119
家輔	182	景家(鶴輔)	127・129・445
義和(竹田津)	561	景行天皇	1
鑑介	555	景幸(鶴輔)	127・129・133・445
鑑基(奈多)	558・559・563・564・565・567・	景親	86・88
	571・572・573・574・575・576・	景春/事(小田原)	42
	578・579・580・584・585	産増(曾孫崎)	33・42・68
鑑秀(前藤)	561	玄能	205
鑑述(清田)	557・560・562	建榮(田染)	529・530・531・532・536・541・
歌生(田北)	536・538・544・547・553・557・		545・547・550・551・553・554・
	558・560		
鑑成(立石)	579		
鑑俊(木付)	535・536・537・546・559		
鑑速(臼杵)	553・557・560		
鑑泰	549		
鑑理(吉弘)	553・557・560		
寛妙	31		
寛抄	203		
頼仏	68		
		き	
		其阿 → 字佐宜基	

557・558・560・561・562・564・  
 565・567・569・570・572・573・  
 574・575・577・578・579・580・  
 583・586・587  
 建是 568  
 整永 (小佐井) 480・481・483  
 元美 73  
 元清 52  
 言広 34  
 百重 (長野) 307  
 煎蔵 74  
 二  
 公永 443  
 公和 (出光) 123・144  
 公貞 (田染) 116  
 公曆 (宮成) 181・194・204  
 公近 32  
 公益 (益永) 182  
 公泰 (新津) 300  
 公憲 (劉津) 563  
 公公 144・146  
 公弘 (劉津) 217・309・356・436・439  
 公幸 (宮成) 451・452・484  
 公行 443  
 公高 (宇佐) 17・18・451  
 公綱 (宇佐) 254  
 公佐 (宮成) 279・451  
 公次 (宇佐) 266  
 公春 (岩根) 41・46・53  
 公順 18  
 公將 (宮成) 163  
 公世 (宮成) 57・59・61・62・63・64・65・66・  
 68・72・73・74・81・163  
 公世 (安心院) 299  
 公世 (八坂) 343  
 公則 238・257・260・263・265・273・  
 299・309  
 公内 (宮成) 182・445  
 公仲 18  
 公仲 8・10  
 公忠 (宮成) 409  
 公隆 (劉津) 563  
 公通 (宇佐) 18  
 公致 (宮成) 55・163  
 公滿 (善松) 147・148・150・162・445  
 公滿 (善根) 443・484  
 公榮 (九条) 111・112  
 公明 (宮成) 163  
 公右 (宇佐) 34・35・37・38

公滿 (劉津) 163  
 弘藤 (大内) 417  
 弘滿 15・28・29・30  
 広藤 205  
 光久 → 宮成光將  
 光雄 (藤原) 111・112  
 光守 (高倉) 105・106・111・112  
 光俊 (藤原) 111・112  
 光世 (永弘) 229・234・246・256・257・260・  
 261・263・265・269・273・286・  
 289・296・297・309・348・384  
 光長 (藤原) 3  
 行信 47・50・51・54・68・79・93・146  
 行仁 (納賢) 33  
 行忠 (二階堂) 33・42  
 行妙 (永正) 203  
 行輔 (宇佐) 22・27  
 行/幸美 (調) 118・174  
 幸慶 205  
 高直 131  
 高輔 365  
 高輔 182  
 高理 (田北) 399  
 高口 263  
 高直 104  
 教弘 (大内) 414・445  
 教教 (広藤) 338・339  
 綱重 (秋吉) 526・527・531・532・535・538・  
 539・541・544・551  
 國綱 (伊田) 503  
 さ  
 佐忠 168  
 し  
 兵安 247  
 兵榮 (永弘) 3  
 兵綱 (吉弘) 198・211・212・216・295  
 兵経 (新波) 187  
 兵讓 (小串) 266  
 兵次 295  
 兵時 (大友) 173・178・179・180・188・189・  
 190・191  
 氏世 (小田原) 211・213・219・220・221・226・  
 445  
 氏兼 (大友) 142・145・151・152・154・155・  
 160・161・445  
 氏忠 (田原) 404  
 氏直 (吉弘) 571・576

氏伍 (石合) 258・363・382・386・387・389・  
 445  
 氏通 (増永) 470  
 氏輔 (吉弘) 198・199・200・201・202  
 氏輔 (永弘) 370・371・380・396・400・417・  
 418・420・421・422・423・424・  
 434・435・436・437・438・444・  
 451・456・457・474・486・488・  
 489・490・503・507・515・518・  
 522  
 氏輔 (小袋) 439  
 時久 (久保) 270・272・274・275・276  
 時政 (北条) 7  
 時宗 (北条) 33  
 時忠 168  
 時房 (北条) 12  
 綱輔 (益永) 3  
 賢辰 (有永) 568  
 賢忠 243  
 齊道 224  
 賢能 (少武) 20  
 賢頼 (少武) 9  
 実世 57  
 室妙 197  
 手輔 (山寺) 146・256・263  
 秀悦 205  
 秀基 → 宇佐宣基  
 秀弘 445  
 秀賢 122  
 秀次 (古庄) 408  
 秀直 (叢吉) 329・333・334・390・445  
 秀能 (小田原) 338・339・342・343  
 秀成 314  
 秀玄 (庄) 309  
 俊輔 22・25  
 春基 (宇佐) 34・35・36・37・38・41・48・49・  
 51・52・55・84・176  
 302  
 藤弘 (宇名瀬) 300・301・302  
 謙武 182  
 尚基 115・116  
 昌基 3  
 昌綱 (秋吉) 440・441・454  
 昌佐 (佐田) 359・445  
 昌秀 (飯田) 352・353・358・445  
 昌勝 224  
 昌世 (泊田) 445・494  
 昌重 (糸永) 8・244  
 昌輔 3  
 昇魂 21・22

常清 (津久見) 525  
 常方 215  
 飯塚 (帯刀) 590・591・592・593  
 藤輔 146  
 藤時 (北条) 78・79・445  
 藤重 (吉弘) 414・445  
 息孝 (田染) 546・591・592・593  
 息秀 427  
 職政 (中原) 111・112  
 心通 205  
 心素軒 518  
 信成 → 能重  
 信貴 (瀬) 57・59・67  
 信景 (宇都宮) 20  
 信賢 101  
 信通 101  
 神高 192  
 信昌 52  
 神川 225  
 神栄/景 80・445  
 製家 (田原) 458・495・508・590・594  
 製實 (田原) 596・597  
 讀久 247  
 龍景 (泰田) 461・463・464・466・467・468・  
 473・475・476・477・480・481・  
 483・485・486・488  
 247  
 親兼 (田原) 563・568・569・570・576・598  
 親広 (田原) 210・222  
 親幸 259・294  
 親孝 (田原) 257・258・306  
 親通 (大友) 286・292・293  
 親氏 (俣見) 338・339  
 親次 (志賀) 601  
 親時 (大友) 48  
 親実 247  
 親秀 (大友) 8  
 親成 (田原) 507・515・516  
 親昌 (長田) 311  
 親昌 (長野) 317・318・363・364・365・366・  
 369・382・386・388・445  
 親照 (大神) 491・492・493・505・509・511・  
 512・513  
 親統 (久保) 520  
 親職 445  
 親小 (小田原) 256・302・309  
 親世 (大友) 207・295  
 親成 (重吉) 287・346  
 理清 (市河) 445  
 親清 383

親千(久保) 317・318・342・343・372・373・  
374・376・377・378・379・380・  
381・383・384・394・445  
親宣(得永) 463・471・491・498・499  
親増(田原) 311・312・313・314  
親治(大友) 482・487  
親忠<sup>ホ</sup> 102  
親忠(田北) 523・524  
親貞(田原) 258  
親貞(大友) 517  
親歌(大友) 400・464・466  
親武(田原) 597  
親武(藤島) 493・505・511  
親房(田原) 415・416  
親隆(大友) 306・307  
親林(林) 338・339

寸

隨時(北条) 58・85・445

せ

正義 146  
正綱(田原) 208・219  
正誓 205  
正幸(永正) 220・221・226・230・231・232・  
233・253・445・494  
正順 205  
正勝 182  
正信(田原<sup>ホ</sup>) 63・70  
正清(渡多) 109  
正盛(井原) 466  
正仙 → 田原直平  
正全 → 大友善能  
正益 → 田原直貞  
正法(尼) 49  
西藤(安藤) 72  
西妙 203  
西法 → 善吉親  
西法 → 宇佐善基  
性文(田原) 237  
政頭(北条) 57・59・60・61・62・63・64・65・  
66・67・68・69・71・72・74・76・  
445  
政弘(大内) 359・417・418・420  
政嗣(大友) 460・479・480・481・583  
政村(北条) 20  
政輔(益永) 254・256  
政親(小田) 302・328  
浄一 205  
浄源 204

清永 52  
清言(金光) 101・146  
清常 146  
清常 52  
清光(金光<sup>ホ</sup>) 146  
清通 98  
清通(金光) 146  
清高 98  
清高 146  
清雨 52  
盛吉(末吉) 302  
盛吉 86  
盛彦 192  
盛勝(江上) 101  
盛重 36・37・38  
盛重(田原) 105・109・111・112・113・114・  
134・136・137・138・141・144・  
146・151・153・154・156・158・  
164

盛法(成願<sup>ホ</sup>) 146  
盛理(佐田) 519  
盛成口 146  
聖取 501  
聖芳(感福寺) 350・351  
渡妙(小田原) 188  
夜弘 → 小田原景善/泰  
仙正坊 325  
佑正(永正) 440・450・463・500  
宣基 92・109・111・112・113・114・  
116・117・119・124・130・135・  
147・148・152・156・157・158・  
159・160・161・164・178・180・  
182・183・185・189・190・191  
178・180・189・190・191  
宣村 182  
宣輔 303  
專慶 303  
然性 122

そ

祖悦(永正) 291・459・461・466・468・471・  
473・477  
宗安(小田原) 445  
宗因 241  
宗宗(田原) 491・492・506・510・512・514・  
518・529・530・581・582  
586  
宗歌(吉岡) 219・220・221・224・445  
宗経(宇野) 208  
宗源(大聖寺) 489  
宗忍(小田原) 57・59・67・74・169  
宗吉(岩部) 211・212

宗甫(都甲) 589  
宗輔(小説) 360・365・439  
宗綱(宇都宮) 134・136・137・138・155・156・  
157・158・159・160・161・445  
宗綱(大友) 566  
則能(小田原) 311  
専尺(足利) 130・170・171  
專晴 53  
尊頼(平林) 520・521・523・524

た

泰基 46・50  
泰吉 64・73  
泰輝(小田原) 64・71・73・76  
泰能(大友) 138  
泰輔 302  
内盛(香志田) 163・178・180・184・189・190・  
191・194

ち

治景(越城) 547・553・554・555・556・560  
治重(古庄) 506・510・514・576・581・582  
智円(古庄) 295・445  
智寛(狭間) 61・65・69・78  
智寿 231  
仲実(調) 174  
仲輔 146  
忠基 60・62・63・64・66・68・71・72・  
73・76・77・79・82・84・85・91・  
123・185・497  
忠崇(佐田) 421・423  
忠広 13  
忠正(田原) 395・404・456・457・462・470・  
478  
忠輔(益永) 9・13  
善利(都甲) 399  
兵景(白件) 525・528  
兵兼 113・445  
兵監(のほろ) 533  
兵時(北条) 20  
兵綱 61  
兵増(吉岡) 553・557・560  
兵方(古庄) 555・557・560・562・576・577・  
578・579・581  
重家 139・140  
重基(字化) 34・35・36・37・41・55・497  
重久 271  
重興 101  
重親 101・146  
重弘 549

重行 61  
重行/幸(永弘) 449・456・457・503・516・518・  
519・522  
重康 100  
重国 256  
重国(杉) 359・361・421・445  
重次(藤原) 325  
重昌(田原) 344  
重隆 360  
重親(杉) 348  
重世(永弘) 345・347・348・398  
重世 → 永弘重輔  
重成 302  
重成(永弘) 362  
重朝 235  
重能(上杉) 147・148・445  
重輔(永弘) 172・181・182・212・213・214・  
216・217・219・220・221・222・  
224・226・229・234・235・236・  
237・248・253・256・263・353・  
376・402・494  
重房(重安) 373  
重茂/高 445  
重隆(杉) 422・425・428  
明定(上杉) 151・152・154・445  
澄永(足利) 578・580  
重義(足利) 133・171  
重広(豊饒) 258・329・333・334・363・377・  
382・386・387・390・391・392・  
393・445  
直氏(一色) 445  
直重(重安) 218・250・257・258・260・261・  
263・265・269・273・299・302・  
345・355・376  
直貞(田原) 126・127・129・130・445  
直冬(足利) 170・171  
直輔(吉弘) 208・219・220・221・222・445  
直平(田原) 49・100・102・104・115・116・  
117・141・146・151・153・164・  
201・203・204・207・210  
直久(上野) 598  
顕光(古庄) 567・568・569・570・571・572・  
573・574・575・576・578・579・  
580  
顕富(田原) 584・585・587・588・590・593・  
599・600  
顕盛(久保) 595

て

定円(森) 122

定基 (字佐) 48・49・51・59・61・63・65・67・  
 69・72・74・75・77・78・80・83・  
 87・91・92・93・109・123・127・  
 133・182  
 定基 (字佐) 134・136・137・138・141・144・  
 151・153・164  
 定賢 205  
 定勝 (生石) 294・445  
 定成<sup>あ</sup> 38  
 定祐 163  
 定祐 244  
 貞和 (小田) 111・112  
 貞家 (吉良) 132・141  
 貞輝 (瑞門) 156・157・158・159・160・161・  
 180・445  
 貞広 (田原) 94・95・96・128・129・132・133・  
 139・140・143・445  
 貞綱 (源藤) 14・26  
 貞載 (大友) 112・114・445  
 貞時 (北条) 48  
 貞俊 (吉田) 358・445  
 貞世 (今川) 215・445・519  
 貞宗 (大友) 69・75・78・79・445  
 貞泰 61・66  
 貞治 (田原) 134・136・137・138・141・146・  
 151・153・164  
 貞重 (藤原) 106

と

通永 (立石) 274・275  
 通幸 (曾祢崎) 84  
 通秀 (曾祢崎) 173  
 通昌 97  
 通定 (友枝) 445  
 通定 (曾祢崎) 60・68・76・84・85・94・95・96・  
 118・125・126・129・133・134・  
 143・146・445  
 通輔 (益永) 309・352・353・354・355  
 統運 599  
 統富 → 田染鎮富  
 通安  
 通永 (益永) 365・409  
 通門 (八坂) 134・136・137・138・164  
 通高 507  
 通尚 (八坂) 62・64・66・68・71・72・73・76・  
 86  
 通鑑 205  
 通継 (河野) 142・145  
 通慶 (曾祢崎) 68  
 通賢 (永松) 129・133・445

道玄 139  
 道秀 410  
 道俊 26  
 道心 205  
 道忍 → 大友頼季  
 道西 → 曾祢崎通定  
 道妙 (秋吉) 315  
 道妙 (倉成) 112  
 道弘 (小田原) 47・48  
 道平 (二条) 106  
 道猷 → 一色範氏  
 能重 31・47・62・68・73  
 は  
 範国 (岡崎) 111・112  
 範氏 (一色) 143  
 繁栄 (本多) 383・481  
 繁綱 (大津原) 480・481・483  
 繁秀 (渡多) 432・433  
 繁正 (田原) 267・389・428・437・442・445・  
 446・447・455・458・459・463・  
 464・465・466・468・469・473・  
 474・475・476・477・478・485  
 480・481・483  
 繁直 (永留) 480・481・483  
 繁貞 (瑞門) 370・372・373・374・384・425・  
 429・430・431・442・445・460  
 繁運 (曾祢崎) 502  
 満朝 256

ひ

妙門 → 香志田久重  
 妙鑑 122  
 妙寛 122  
 妙幸 (上橋) 245  
 妙心 122  
 妙忍 205  
 妙性 → 宇佐吉兼  
 妙弁 122  
 妙仙 268  
 妙藏坊 244  
 ふ  
 豊宗 (真玉) 520  
 ぼ  
 邦輔 8  
 本輔 (字佐) 98・149・166  
 伊豆 (幡子<sup>あ</sup>) 302  
 法光 → 田原盛直  
 宝吉 205

宝掌 210  
 宝心 291  
 宝通 (安藤) 90  
 宝妙 205  
 保美 (永弘) 7  
 保範 (永弘) 131・146・149・167・168  
 保房 146  
 蓬山 118  
 本福 205  
 め  
 明守 (吉用) 101  
 明秀 205  
 明正 (小田) 101  
 ゆ  
 友輔 146  
 右述 (本庄) 493・505・511  
 右輔 (益永) 182  
 有快 (穂田) 189・190・191  
 有寛 42  
 祐賢 205  
 祐秀 53  
 祐輝 174・186  
 融昭 (田原) 415・416  
 よ  
 美学院 325

<2> 通称・官途名索引

あ

あいねうこせん 73  
 あいまず丸 73  
 安宗守 (安藤) 389  
 安宗守 → 安藤利尚  
 い  
 伊賀守 (寛嶋<sup>あ</sup>) 259  
 伊賀守 (本庄) 428  
 伊賀守 → 本庄右述  
 伊賀亮 → 得永親宣  
 伊賀入道 → 本多繁栄  
 老中内左衛門 → 宇都宮信景  
 伊三郎入道 51  
 伊勢守 (曾祢崎) 292  
 伊豆守 → 上杉重能  
 伊豆守 → 古庄良方  
 和泉守 (上野) 487

ら

賴吉 (齊田) 343  
 頼龍 182  
 頼元 (字佐) 9  
 頼尚 (少武) 143・171  
 頼生 (字佐) 50  
 頼泰 (大友) 42  
 頼朝 (頼) 583

り

利尚 (安藤) 449  
 利治 247  
 利貞 (上野) 343・370・429・430・431  
 利輔 162・166  
 隆位 205  
 隆賢 (四条) 111・112  
 了俊 → 今川貞世  
 了暁 → 吉弘直輔  
 良秀 205  
 良勝 295  
 良棟 122  
 良夢 122  
 竜綱 (永正) 448

れ

蓮秀 205  
 廉任 122  
 藤弘 74  
 蓮法 122

和泉守 (山下) 528  
 和泉守 (真玉) 564・571  
 和泉守 → 岩永氏通  
 和康<sup>あ</sup> → 井俣正盛  
 市三郎 122  
 一次郎入道 23・24・25  
 伊賀守 (田原) 220  
 因幡守 → 大友親時  
 因幡守 → 佐田忠景  
 因幡守 → 北条貞時  
 因幡太郎 (田原) 267  
 因幡入道 → 佐田昌佐  
 因幡入道 → 立石智尋  
 因幡八郎 (田原) 226  
 今房九 (久保) 404  
 弥五郎 → 小田原泰郷  
 弥五郎 → 八坂道海

弥五郎 → 田染宗忠  
弥五郎 → 田染宗重  
弥五郎 (田染) 383・385・388・391・433・445・  
464・479・480・481・488・490

いや三郎 77  
弥三郎 398  
弥三郎 (田原) 246・250  
弥三郎 → 尾崎久造  
弥三郎 → 永弘宗佐

いや四郎 73  
弥四郎 → 田原忠正  
弥太郎 453  
弥太郎 (豊前) 125  
弥太郎 (田染) 298・308・316・322・340・428

弥太郎 → 宇佐奉輔  
弥博士 122  
いや六郎 73  
弥六 291

伊予入道 → 有弘親永  
石見守 (小袋) 361・423  
石見守 → 貞俊  
石見守 → 侯辰親兵  
石見守 → 吉弘親重  
石見入道 → 飯田昌秀

う

左衛門 (伊美) 404  
左衛門三郎 (田染) 180  
右衛門三郎入道 → 尾崎行信  
右衛門次郎 (長野) 138  
右衛門次郎 (吉弘) 491  
ういす 73  
うふたごせん 73  
右馬頭 → 田原親賢  
右馬丞 (吉弘) 428・485  
右馬/馬次郎 (長野) 43・58・86・91・122・134・136・  
137・141・151・153・164

右馬助 (重安) 372・373・374・384  
右馬助 → 吉庄治重  
右馬助 → 吉庄親光  
馬二郎 → 宇佐定基  
馬太入道 73  
馬入道 → 源信寛

え

越後守 → 林親林  
越前守 (帯刀) 576  
衛門九郎 280・316  
衛門大夫 → 藤原実吉  
衛門大夫 205

衛門次郎 76  
お

大炊助 (齊藤) 513  
大炊助 → 貞重  
大炊助 → 木村龍盛  
大炊助 → 久保親千  
大炊助 → 永正惟世

おっ入道 315  
近江入道 → 田原親賢  
大藏左衛門入道 → 小田原宗安  
大藏左衛門入道 → 小田原宗安  
奥次郎大夫 279

おとあいごせん 73  
おほま 73  
織部助 (正田) 567・578  
尾張入道 (名越) 42

か

甲斐守 → 常方  
加賀守 (内田) 404  
加賀守 (幸野) 399  
加賀守 (渡辺) 596  
船山次郎 (高田) 212・216・219・220

主計允 (長野) 596  
上総 (管仲崎) 404  
上総守 (小袋) 597  
上総守 → 永留繁直  
上総介 → 北条致顕  
上総入道 → 田原正雄

かなはう丸 87  
かめくそ 73  
かめはう 73  
播磨 (秋吉) 398  
播磨 (安藝) 337

播磨 → 久保時久  
播磨守 → 都甲善利  
播磨藏人 → 田原貞治  
播磨九 → 景親  
播磨助 (石岡) 445  
播磨助 (吉弘) 578

播磨助入道 → 小田原道弘  
播磨入道 (上郷) 243  
播磨入道 → 帯刀紹重  
河内守 → 有永賢辰

き

紀伊守 (渡辺) 517  
きくねん 225  
形部四郎 205

形部大輔 → 大友氏時  
く

くそほうし 73  
くそ丸 104  
宮内 (木付) 465  
宮内丞 (大島) 594  
宮内丞 (小袋) 445  
宮内丞 (古庄) 545・547

宮内少輔 269  
宮内少輔 (帯刀) 592  
宮内少輔 (中村) 600  
宮内少輔 → 一色直氏  
宮内少輔 → 木付龍成  
宮内二郎入道 (大/長野)

久次郎 (河野) 325  
九郎 73  
九郎 330  
九郎 (林) 404

九郎 → 重吉親成  
九郎右衛門 (中野)  
藏人 → 上野利貞  
藏人 → 寒田順吉  
藏人頭 → 管仲崎掃通

くわのうまろ (いいつか)

け

けさと (倉成) 446  
元阿/けんあみ 169・195  
郡右衛門 (岡部) 458  
瀬五郎 → 田染建栄  
けん六 (松尾) 73

こ

上野介 (田原) 269・292  
上野房 51  
光房丸 (香志田) 194  
小観音六郎 51  
小四郎 → 伊美親  
小次郎 (竹田津) 141  
小次郎 (古庄) 404  
小太郎 397  
小太郎 (紀) 205  
五郎 73  
五郎 (尾崎) 62  
五郎 (久保) 255  
五郎 (田染) 180  
五郎 (古庄) 445  
五郎 (みね) 77  
五らう三郎 92

五郎四郎 (伊美) 113・114・445  
五郎二郎 389  
五郎太郎 205  
五郎太郎 67・445  
五郎入道 (唐良) 75  
五郎入道 (賀茂) 113・445  
五郎入道 (矢野) 142  
五郎兵衛 (川野) 325  
五郎 (江嶋) 22  
権右衛門尉 (宗像) 590  
三郎兼入道 (田原) 22・23・24・25  
権次郎 (職門) 225  
権太郎 325

さ

左衛門九郎 304  
左衛門五郎 → 八坂道海  
左衛門三郎 453  
左衛門三郎 (長/永野) 169・195・203  
左衛門入道 (次下) 445  
左衛門少尉 → 観光/景  
左衛門少尉 → 菅広  
左衛門尉 → 岩部宗直  
左衛門尉 23・24  
左衛門尉 (高) 37  
左衛門尉 → 定成  
左衛門尉 → 重康  
左衛門尉 226  
左衛門尉 → 佐保永弘  
左衛門尉 (中原) 53  
左衛門尉 (益永) 23  
左衛門次郎 → 友枝通定  
左衛門次郎入道 (御前) 88  
左衛門大夫 (都甲) 219・220・403・405・406・445  
左衛門大夫 (広瀬) 399  
左衛門大夫 → 大神親照  
左衛門入道 (高田) 41  
左衛門入道 → 行仁  
相模守 → 北条時宗  
相模守 → 北条時房  
左近五郎 205・304  
左近将監 → 良重  
左近将監 (久原) 84  
左近将監 (成松) 445  
左近将監 → 大友貞宗  
左近将監 → 大友貞宗  
左近将監 → 田原直平  
左近将監 → 北条時平  
左近将監 → 吉弘氏郷  
左近次郎 → (田原永) 正信

左近大夫 → 田原禮武  
 左京(永正) 246・250  
 左介 → 上野鎮久  
 佐渡守(田染) 347・398・413  
 三郎 92  
 三郎(飯塚) 154  
 三郎(いづか) 184  
 三郎(久土知) 576・577  
 三郎けつとの 11  
 三郎袂(なかの) 236  
 三郎左衛門尉 → 藤原景春  
 三郎次郎(高田) 219・220・221  
 さふらうた守  
 三郎兵衛 → 田北親忠  
 三郎[ ](安城) 23  
 左馬助(古庄) 509  
 左馬助 → 津久見常清  
 左馬助 → 田原繁正

し  
 式部 244  
 式部 375  
 しきふ尉 永正氏輔  
 式部丞(永弘) 515  
 式部丞 → 大友氏春  
 式部丞 → 大友親世  
 式部丞 → 永弘氏輔  
 式部少輔(田染) 400  
 式部少輔(渡辺) 566  
 七郎大郎 397  
 信濃守 → 藤原光親  
 信濃守入道 → 古庄智円  
 信濃判官入道 → 二階堂行忠  
 治部四郎入道 139  
 十郎 73・205  
 十郎左衛門三郎 → 曾祢崎通定  
 十郎左衛門尉 → 曾祢崎通幸  
 十郎二郎 280  
 十郎次郎 389  
 修理亮(倉成) 134・136・137・138・141・151・153・164

將監 → 平林尊範  
 四郎 546  
 四郎 → 田染富富  
 四郎左衛門(小田原) → 智算  
 四郎左衛門入道 → 狭間智寛  
 四郎左衛門入道 74  
 四郎三郎 576  
 四郎二郎 389

四郎二[ ] 575  
 四郎次郎入道 → 永松道賢  
 四郎入道(都甲) 75・118  
 二郎 397・410  
 次郎(秋吉) 398  
 次郎(おかのや) 446  
 次郎(田原) 226・243・253  
 次郎(古庄) 14  
 次郎(益永) 444  
 次郎(吉用) 211  
 二らう → 直久  
 次郎 → 小田原氏世  
 次郎 → 田染久重  
 次郎 → 永弘重成  
 次郎左衛門尉(下野) 124  
 二郎三郎 92  
 二郎大郎入道 73  
 次郎入道(都甲) 164  
 次郎入道 → 小田原道弘  
 二筋丸(宇佐) 168  
 次郎[ ] → 曾祢龍秀  
 野右衛門 451  
 しんさへもん → 永正惟重  
 新左衛門 → 佐保永弘  
 新左衛門 → 永正佑正  
 新左衛門尉(長野) 198  
 新左衛門尉(堀) 521  
 神左衛門尉 → 田染宗榮  
 神三郎入道(安心院) 445  
 遣土兵衛入道(新田) 142  
 しん大入道(高崎) 73  
 新兵衛尉 → 野田惟栄

す  
 周防入道(小塚) 211・212・216  
 すけ三郎(なかの) 228  
 すけ三郎(益永) 289  
 助三郎 → 曾祢崎通秀  
 助四郎(曾祢崎) 214  
 助二郎(田染) 323・402  
 助太郎 → 永弘重世  
 助入道(小田原) 118  
 回書 → 田染宗忠  
 回書允/助 → 田染宗重  
 駿河守 → 秋吉綱重  
 駿河守 → 秋吉昌綱

せ  
 清九郎 284  
 清五郎 284・304

摂津守 → 波多繁秀

せ  
 惣四郎 325

た  
 大膳(佐智) 279  
 大膳亮 → 杉重親  
 たうしう(永正) 349  
 たちまの守 97  
 恒馬守(大島) 594  
 ためめ 218  
 太郎 122  
 太郎(岡部) 259  
 太郎(岡屋) 404  
 太郎(永弘) 419  
 太郎(丹生) 404  
 太郎(渡辺) 601  
 太郎 → 香志田内重  
 太郎三郎 330  
 太郎三郎(渡辺) 528  
 太郎入たう(はかへ) 73  
 太郎入道(安藤) 89  
 太郎入道 → 安藤玄通  
 弾正(小田原) 250  
 弾正忠(丹生) 404  
 弾正忠(野上) 513  
 弾正忠(平林) 482・483  
 弾正忠 → 小田原秀能  
 弾正忠 → 豊嶋親富  
 弾正忠 → 豊嶋直弘  
 弾正忠入道 → 小田原政妙  
 丹波守 → 古庄秀次

ち  
 主税助(丹生) 446・487  
 忠兵衛尉 → 真玉豊宗  
 千代一御れう 448  
 長右衛門(財前) 325  
 長右衛門尉(大島) 594

つ  
 つしま 397  
 対馬守 → 公世(宮成)  
 つしま入道(都甲) 428  
 鶴亀丸(河野) 178・188・189・190・191  
 つらくそ 73  
 鶴若御料人 529

と  
 藤右衛門尉 → 田原親家  
 藤五入道 → 香志田久重  
 藤左衛門 → 佐田盛理  
 藤左衛門(帯刀) 223・492  
 とう三郎入道(永正) 135  
 藤七(帯刀) 506  
 藤七郎 533  
 遠江守 → 北条時時  
 遠江入道 → 生石定勝  
 徳次郎 50  
 徳次郎(三野) 458  
 得太郎 72・73  
 土佐守 → 堀門篤文  
 土佐守 → 吉庄長方  
 土佐守 → 吉庄治重  
 利根二郎 → 大友親秀  
 倉人允 → 久保鎮豊  
 刀一丸 → 田染助二郎  
 とらほう丸 73

な  
 中筋(佐知) 238  
 中筋丞(秋吉) 581・582  
 中筋丞(都甲) 211・212・216  
 中筋丞 → のはる具堅  
 中筋大輔 → 田原親述  
 長門守 → 永正惟定  
 長門入道 → 都甲宗幸  
 長門入道 → 永正正幸  
 長門入道 → 吉弘休円

は  
 八郎 316  
 八郎 → 田原 253  
 八郎 → 田染重盛  
 八郎 → 峯吉親  
 八郎五郎(田染) 459・460  
 八郎さへもん(木庄) 295  
 八郎四郎 280  
 八郎二郎(永正) 496

ひ  
 彦右[ ](渡辺) 325  
 彦九郎(松尾) 201・202・203・204・207・213  
 彦五郎入道 → 八坂道円  
 彦三郎 324  
 彦三郎入道 → 八坂道円  
 彦七郎(永正) 531・533・538・540・541・544  
 彦四郎 534・535・538・539



那六入道(豊前) 124  
 肥前守(益永) 451  
 肥前權守入道(日田) 118  
 肥前次郎(日田) 141  
 備前介 → 宇野吾宗頼  
 常陸介 → 大津留家綱  
 日向入道(内膳) 414  
 ひろへ二重りさゑ 497  
 兵衛次郎 → 行妙 4  
 兵衛二郎 → 永正行妙  
 兵衛太郎 51  
 兵衛助 → 永正惟久  
 兵部少輔 → 石合氏伝  
 兵部少輔 → 津田親景  
 備後(行綱) 342・346  
 備後守 → 田原親増  
 備後入道(田原) 245  
 備後入道(古庄) 219・220・445

備前(田染) 283  
 備前守 → 益永兼頼  
 備前藏人次郎入道 → 田原盛直  
 備前左近藏人 → 田原直平  
 備前六郎藏人 → 田原貞直  
 文庫 325

平内太郎 267  
 平八 267  
 源光丸(曾祢崎) 143

伯耆守 → 重吉秀直  
 伯耆守 → 杉風田  
 伯耆守 → 長田親昌  
 伯耆守 → 長田親昌  
 伯耆守 → 長野吾重  
 伯耆守 → 八坂 世  
 伯耆口(長久賀) 404  
 ほうめう(永正) 193

孫五郎(立石) 145  
 まこ三郎 92・183  
 孫三郎 → 宇佐重盛  
 孫三郎 576・577  
 まこ三郎入たう 130  
 孫四郎 → 河野道隆  
 孫四郎 → 重安重房

孫四郎 → 真玉惟氏  
 孫太郎左衛門尉 → 権門貞郷  
 孫六 → 宇佐忠基  
 孫六(大/長野) 86  
 まこ六 183  
 益寿丸 36  
 又五郎 503  
 又五郎(あらひら) 77  
 又三郎 73  
 又三郎(永正) 541・544  
 又四郎 97  
 又二郎 92  
 又二郎 280  
 又二郎(しもつけ) 179  
 又二郎 → 小田原景春/泰  
 又次郎(真玉) 118  
 又二郎入道 54  
 又太郎 454  
 又太郎(久保) 576  
 又太郎 → 重安直重  
 又太郎左衛門尉 51  
 松若丸(田染) 588  
 まん五郎 453  
 まん二郎 271

三かわ 73  
 三河守(長野) 504  
 三河守 → 杉重隆  
 美濃守(綾郡) 564・565  
 美濃守(広瀬) 403・405・406  
 美濃守 → 大佐井安直  
 美濃守 → 広原教致  
 宮乙/一丸 324・327・360・412  
 みんふ 283  
 民部左衛門尉 → 懸種景家  
 民部少輔 451  
 民部少輔(真玉) 552・573・574・576・583  
 民部少輔 → 親忠  
 民部少輔 → 白井良景  
 民部入道(伊勢) 118  
 みんぶの少輔(しん) 116・117

武藏守 → 高朝直  
 武藏守 → 北条長時  
 武藏三郎(深水) 445  
 陸奥守 → 北条政村  
 陸奥守 → 北条義時

や  
 山城(鞍部) 342  
 山城守 403  
 山城守(松田) 493  
 山城守 → 久保親統  
 大和守 533  
 大和守(伊美) 404  
 大和守(田北) 528  
 大和守(瀧辺) 187  
 大和守 → 小佐井整永  
 大和守 → 田北高理

よ  
 米持丸(宇佐) 56  
 ろ  
 六郎 504

〈3〉 有姓無名索引

あ  
 赤山 533・540  
 秋吉 564・565・572・576  
 安部 3

い  
 一万田 414  
 糸永 140

う  
 宇佐 25・31・126・300・439  
 宇佐氏女 → 田染性女  
 宇佐氏女 51  
 宇佐太子 73

お  
 大内 358・522  
 大内氏女 .36・37・38・45・46

き  
 木村 208  
 岐部 414

く  
 久保 246・250・315  
 倉成 416

こ  
 小田原 392・393  
 惟宗 3・13

六郎(いいつか) 73  
 六郎(伊美) 334・482・483  
 六郎(永正) 282・322・411・425・427・442・460・471・472・499

六郎 → 田原親幸  
 六郎右衛門 → 竹田神藏和  
 六郎藏人(渡辺) 171  
 六郎さへもん 337・350・397  
 六郎三郎 205  
 六郎三郎 → 永正惟永  
 六郎大夫(田中) 22・24・25  
 六郎太郎 284

わ  
 若狭(古庄) 447  
 若狭守(田原) 198  
 若狭入道 → 庄寿玄

きう田 195  
 佐田 451  
 佐保 217・218  
 栗田 445

し  
 新庄 250

す  
 末永 246・250・271・344・397

そ  
 曾祢崎 239・250・446

た  
 平 3・13・124  
 田染 120・135・276・392・393・394・445・465・469・477・478・484・485・493・495・498・499・501・502・508・513・520・521・527・534・535・537・544・548・549・555・559  
 田原氏女 99・123・128・132・133・134・136・137・138・141・144・145・146・151・153・155・163・164・165・170・182・184・185  
 田原 195・302

たん	246・250		ふ	3・9・13・14・325
	と			68・79
利行	246・250	藤原 藤原氏女 藤原太子 古庄		26 238・250
	な		ま	
中原 永弘	9 270・272・274・275・277・313・ 316・317・319・321・429・445・ 475・476・478	俱見		446
	に		み	
丹生	344・446	源 三善		8 111・112
	は		も	
奥氏女 林	152・157・159 246・250	森		259
		吉弘	よ	250・535

## 2 地名資料からみた田染

### はじめに

荘園村落を研究するにあたって、地名の調査は大きな比重を占めるが、その方法については模索段階にあると言える。田染荘の復原調査においても、まず最初に取り組んだのが、大字嶺崎における地名調査であった。その成果は、「文化財レポート(136) 豊後国田染荘の復原調査」(『日本歴史』393号 1981年2月)に収められている。この後、田染荘の荘域内にある7つの大字について、調査が進み、本報告書では、合計して416ヵ所の小字と442ヵ所の小字内地名を収録した。地名採取の方法は、まだ完璧とは言えないが、ここでは大字嶺崎の方法を基本的に踏襲した。小字内地名の採取は聞きとり調査に頼ったが、行政小字の数を上回る数が採取できたことは注目すべきことであろう。

この報告書では、以上のような近代地名の採取結果を載せると同時に、「田染荘史料」に載せられた中世地名の一覧を掲げた。なお、附図の「1 田染地域小字境界図」(1:10,000)に行政小字の境界と小字内地名の位置を示した。これによって調査領域内における収集データの全体像を確認することができる。中世地名の位置比定は、これらの資料により慎重に検討していかなければならない。

### (1) 近代の地名

前掲の「文化財レポート」では、地名調査において、網羅性と位置確認が不可欠の条件であるが、行政資料にあらわれない、いわば自然状態下にある地名を採取するに際してはこの二条件を満足させることが難しいことを述べ、さらに次の3つの方法を挙げた。

- ①近世以来の基本的な村落(またはその集合体)であった大字内の地名を悉情的に調査する。
- ②大字内の小字を調査単位として重視し、数ヵ所の小字を一つのブロックとして、その区域の地名に精通している人を選び、聞きとり調査を行なう。
- ③地名採取にあたって、小字の枠を確實におさえ、可能な限り地番を確認する。田の畦畔が明確に示されている五千分の一地形図で照合する。

①・②については、その後も変更はないが、③については、小字内地名の地番を統一的に把握することは困難であり、一覧表に載せたように小字を構成する地番を示すとどめた。また、ここで利用する五千分の一地形図は、この目的のために作成した「小字境界図」である(II-4「明治21年土地利用図と小字境界図」参照)。

地名の検出にあたっては、神詞を除いたほか小字と同等ないしそれ以上の領域を有するものは除いた。このような例として、「豊後国田染荘の調査 I」の第73図(P.135)の第V階梯(集落複合)と第VI階梯(集落)をあげることができる。これらの中には小字名と合致するものもあるが、共通し

ないものも多い。近代の行政資料からは消れたが、「無常講」の単位になるなど、意外に根深く日常生活にかかわっている点は見逃せない。

小字内の地名を検討すると、同名の地名がいくつかの小字に存在している例が見られる。これは二つの形態にわかれる。一つはヒロブサの例である。大字嶺崎の中で鈴ヶ森・園田・岩壁の各小字内に存在するウサあるいはブサはこの地域では水田のことを指すのであり、ヒロブサは面積の広い水田をあらわす普通名詞であった。それが小字内の特定の水田のみに呼称が限られるようになり、固有名詞化したものである。もう一つの例は大字嶺崎の原と堂山にみえるヤマノクチである。これは隣接した小字にまたがって一つの地名が存在したものである。以上のような場合には重出すること自体にも意味があるので繁をいわず、個別にあげておいた。

### 凡 例

- 掲載の表は、各列とも① 大字内の小字通し番号 ② 小字名 ③ 小字の番地 ④ 小字内地名の順序で示した。
- 小字内地名は、現地の人々の発音をカタカナで表現した。

大字嶺崎		ウエノノジ	
1 日ノ出 1~115	コシノイワ・ショウガツツツ・ザツコ	14 平 原 914~987	シタノノジ
2 堀 田 116~182	イワキマエ・ツカバサ・カマダサ・ソトシダン・コダケ・カワダ・ババ	15 下 屋 敷 988~1103	センジュウ・ニイズミ
3 鳥 免 183~214	ナガメキ・ギヤギヤ・トビウサ	16 巻 脇 1104~1155	ニナジリ・ヒロブサ・マエトウ
4 鈴ヶ森 215~234	ヒロブサ・フカマ・フチノヘ・ヒロブサ	17 古 野 1156~1265	タンコベラ・タワ・イワノウエ
5 園 田 235~290	リョウサンダ・クチノダ・センジュウガケ・ナシノモト	18 中 フケ 1266~1315	ツルガイケ
6 江ノ元 291~326	タネノブ・ジョウユニウ	19 中 原 敷 1316~1393	ウエノクボ
7 川原田 327~354	カドゴウ・フタゴザシ・リュウダツ・コウジツ・マツト	20 カクトフ 1397~1436	シソクゴニ
8 田 中 355~381	スギノシタ・オオタニヤ・キョウツツカ・ノジ	21 坂 本 1437~1522	カマミガキシ・ツツミシ
9 小 原 382~432		22 畑 1523~1588	シノダ
10 松 尾 433~535		23 地 蔵 平 1589~1682	シング・ヒダン・ナカヤブ
11 喜 良 536~614		24 高 山 1683~1803	ハネイワ・ニシガハラ
12 西 田 615~686		25 サ セ フ 1804~1921	ショウダク・ハカハラ・ドウノマエ・ヒガシ・ミスミ・ナカヤシキ・タネノブ・カド・ミドオ・イイツカ
13 上原敷 687~913		26 重 山 1922~1954	シヨウダク・ハカハラ・ドウノマエ・ヒガシ・ミスミ・ナカヤシキ・タネノブ・カド・ミドオ・イイツカ
		27 峯 1955~1976	ニナジリ
		28 六 郎 園 1977~2046	
		29 上ノ原 2047~2142	

31 行 司 田 2183~2257	タカオサ	57 堂 山 4481~4653	ギョクセン・ヤマノクチ・ニシガヒラ・ハラエ・ロッコウサマ・ロウガイワ
32 竹ノ下 2258~2288	コフデン	58 大 平 山 4654~4654	
33 池ノ内 2289~2467	カラダ・ワクドイワ・ヤケヤマ	59 門 天 4655~4734	
34 下ノ山 2468~2591	カベツ・マドタ・カドタ・カズラモリ・ミチノシタ・ビワオサ・ナワシロク・ドベタ・ガキニワ・ミチウエ・イワノウエ・オヤマ・ソウズダモト	60 壱 ヶ 迫 4735~4861	ハゼバタケ
		61 赤 迫 4862~5071	マルゴキ・デミノクチ・ノジ・ハチガス
35 原 2592~2774	ナガシマ・イワノハナ・イワタケケンノキ・ハルシモノタ・イセヤマ・オセドウ・ナカゴウラ・ヤマノクチ	大字真中	
36 ナナツヤ 2775~2852	キレイケ・ハナノタ・トオバタケ	1 官 田 1~146	カマワド・シノハラ・カガツデン・クツダ
37 ケシナ 2853~2951	シガキ	2 長 野 147~407	タドオリ・カンニョウジ・ツカモト・イワダ・スイシ・サコ・カワダケン・トリゴエ・ミヤエト
38 合 田 2952~3023	ハカノシタ・ヤナガツボ・イヤレミチ	3 戸 原 408~586	オチオサ・ナガメキ・ドウキユウタ・カマオサ・サンカクタ・ヒロオサ・モンゼン・スエツキ・ハタケドウシ
39 上大平 3024~3089	タノノキ	4 大 門 587~724	ドウノマエ・イゼノウエ
40 大 平 3090~3256	タノハタ	5 大 平 725~928	クロムツ・ウラノウエ
41 多々良 3257~3364	ババノシタ	6 旭 929~1057	ベ・ベザイシ・ツクダ
42 弓 切 3365~3438	オツケバ・マツハラ・アサノサコ	7 熨 山 1058~1100	コモリイワ・ダンゴイワ・アナイト・ドウノマエ・ヒロハタケ・フマイ・ドンド・アミダヘラ
43 上 町 切 3439~3478	ミイサコ	8 一ツ岡 1101~1221	フカサコ・シゲノサコ・ムコウヤマ・ケイバトコ
44 合 畑 3479~3577	オチ・マクシロ・フシシタ・マツボリ	9 間 戸 1222~1431	ニシノボウ・ナカニシノボリ・カズラモリ・オカダ・キタニド・ヒガシ・ホンケ・サンフツ・ヒガシノボリ・シタノクボ・イナリヤマ・セイレンボ
45 犬ヶ迫 3578~3674	カマオサ・イウタンギレ・ウメノキワタリ・チヤノキ・ツエガサコ	10 草 場 1432~1609	キヤノカミ・ホリ・ドウノカミ
46 上犬ヶ迫 3675~3695		11 北 畑 1610~1752	ウメキ・ニキジリ
47 タノキ 3697~3754	イマザイキ・ミヤノマエ	12 陸 嶺 1753~1896	ハチノキ・イタダエンサドウ・クロクサドウ
48 大 堂 3755~3838	シモノムカイ・ウツギバタケ・イワノウチ・ソノ・ゴマドウ	13 前 田 1897~1998	カマオサ・ナナツエ・
49 小 原 3839~3914	ウシノサコ・コナゴザコ		
50 米 山 3915~4014			
51 大 山 4015~4092	コシキイシ		
52 上 山 4093~4097			
53 上 空 木 4098~4186	カヤバ		
54 空 木 4187~4344	カサノハラ・タカイワ		
55 升 淵 4345~4386	カブトイワ		
56 タ カ イ 4387~4480	ウキイシ・ヨシゴコ・ウメノキ・マルヤマ・ヒラトコ		

14	城山	1999~2204	スエサキノハナ・タド コロ・スキヤ ビワオサ
15	東菊山	2205~2294	
16	田ノ口尾	2295~2415	シラハダ・ハカモト・ アカゲイ・ムセオサ・ ヤセオサ
17	土ノ尾	2416~2445	
18	五反田	2446~2593	サルミヤ・ニタンギ レ・ゴタンダバル
19	西菊山	2594~2680	ゴンサコイワ・ミズタ リ・ショウチボウ・ハ タグシ
20	下菊	2681~2741	

大字平野

1	早田	1~157	ココノセオサ・ヤセオ サ・ジソウゲン・ジソ ウマツ・アキヤマ・コ ントウ・アキヤマイワ ジツウ・カイアキイワ
2	前田	158~362	
3	上ノ平	363~488	
4	シケヤマ	489~616	シロクイン
5	田代	617~705	タヌキガサコ
6	池ノ上	706~776	
7	塚ノ下	777~832	
8	宮ノ迫	833~965	コナンサコ・オンナサ コ
9	道広	966~1020	ヤセオサ
10	上久保	1021~1091	ビワオサ
11	長谷	1092~1214	
12	平畑	1215~1334	ヤマナカ・ニシガサ コ・フルヤマ・ジュン ケ・カタハラ ゼ・カノサコ・ナガサ コ・アンタイ
13	園ノ木	1335~1467	マダノク マツノク アカイワ
14	千道	1468~1580	ナガオサ・ニシガハラ
15	土ノ尾	1581~1710	ウシロノサコ
16	西ヶ平	1711~1777	
17	後ノ迫	1778~1815	
18	高岩	1816~1893	
19	竹ノ下	1894~1995	シショウダ・ナバゴ ヤ・マツモト・ケンシ チダ
20	田ノ口	1996~2081	1 大石川原 330~412
21	神田	2082~2134	2 ホキノ下 413~436
22	熊野	2135~2239	3 シマオサ 467~491
23	向ヶ平	2240~2317	4 トリイヤマ・タノクチ ゴエ
24	近道	2318~2474	5 キド・コウサツバ・カ

25	無煙	2475~2540	ミノイド
26	豊尺	2541~2641	マエダ
27	橋本	2643~2762	カジヤヤシキ クスノキ・ムセブサ・ ハシノモト・ムカノサ バラ・ミヤヤマ・ヒロ ハタ・アシカケイシ・ ミヤシシガ
28	松本	2763~2861	
29	観上軒	2862~2976	ゼジンウサン
30	向ヶ平	2977~3056	ムコウツジ
31	生子巻	3057~3115	サズワ
32	地取石	3116~3178	タカイワボウズ
33	宇須木	3179~3248	クリイワ
34	大畑	3249~3270	カンノキハラ・シライ シ・ラカンノクボ・オ オヒラ・オズエ・シチ ロウクボ・イシカン メ・タンダグイワ・サン ジョウイン

35	屋敷	3271~3424	ホリノクチ・モンゼ ン・ミノツジ
36	前長	3425~3477	ミヤノシタ
37	長正	3478~3559	ナガマサイケ・マイド ン
38	下小曲	3560~3631	ゴウドウ・マドイワ
39	小曲	3632~3683	
40	間戸岩	3684~3719	
41	中尾	3720~3819	オマンサンヤシキ・ダ ンゴゼ
42	周ヶ尾	3820~3922	ブドウヤシキ

大字上野

1	コブシ	1~38	アナク・ツボオサ・タ イダ
2	スガフタ	39~52	
3	用心田	53~67	
4	三玉田	68~112	ワクリアガリ
5	市場	113~135	
6	クスレ	136~156	ビワオサ・シメオサ・ サンボンマツ
7	アラセ	157~188	
8	小石原	189~228	ハクダ
9	西ノ尻	229~289	
10	圃田	290~329	
11	大石川原	330~412	
12	ホキノ下	413~436	
13	シマオサ	467~491	
14	一ノ坪	492~548	サンヤシキ
15	神田	549~577	

16	平畑	578~626	
17	平原	627~684	
18	立石	685~714	
19	ヤシキ	715~804	ニシ イッタンギレ
20	大山	805~839	ヒガシキ・キンベイバダ ケ
21	東平	840~865	カズラモリ
22	ツルイ	866~1024	
23	山ノ神	1025~1066	
24	尾辻	1067~1090	
25	牛ノ神	1091~1120	
26	雀岩	1121~1199	
27	ナグ石	1200~1222	
28	高取	1223~1279	
29	宮原	1280~1291	
30	鍋山	1292~1293	

大字相原

1	牛王手	1~5	
2	下酒屋	6~14	
3	流田	15~37	
4	小石原	38~54	セドグチ
5	口ノ丸	55~58	
6	峯田	59~69	
7	石王	70~75	
8	堂ノ脇	76~103	シモノハシ
9	西ノ迫	104~127	
10	ヒエ田	128~137	
11	神田畑	138~151	
12	上屋敷	152~175	ウエルイ
13	上ノ迫	176~200	デグチ・オク
14	大反田	201~216	
15	梅ヶ迫	217~264	
16	小五郎	265~349	ホキノシタ
17	深迫	350~374	
18	天久保	375~421	
19	両田河内	422~476	ウジンキ・イケダ
20	鶴木山	477~505	
21	夫谷	506~521	
22	水谷	522~532	
23	葉山ノ上	533~549	
24	陣子ノ迫	550~564	
25	影平	565~574	
26	出水	575~592	
27	宮ノ上	593~629	
28	大久保	630~654	
29	宮ノ原	655~675	
30	丸尾	676~684	
31	金丸田	685~704	
32	ヒカケ	705~739	

33	向野	740~782	
34	向流田	783~807	
35	圃田	808~818	
36	橋田	819~828	
37	神田	829~841	
38	サルバミ	842~859	
39	天瀬	860~935	
40	大石川原	936~961	
41	向田	962~1015	
42	下高平	1016~1053	
43	広畑	1054~1075	
44	高平	1076~1122	
45	中屋敷	1123~1200	
46	門太郎	1201~1231	
47	西郎二郎	1232~1256	
48	池ノ中	1257~1285	
49	西原内	1286~1390	
50	隠畑	1391~1416	
51	次原成	1417~1425	
52	新瀬	1426~1468	ハカンマエ
53	向山	1469~1503	
54	西反田	1504~1517	
55	神台	1518~1572	ジダン・ロクダグ・ヒ トツウサ・ユウジキ ク・ゴダダ・ナガヌキ ク・イッタンギレ

56	五反田平	1573~1595	
57	岩ノ下	1596~1618	アネンマエ
58	坊園	1619~1663	
59	桜畑	1664~1711	オコシイン
60	八ツ江	1712~1730	
61	永松迫	1731~1776	
62	屋敷ノ下	1777~1809	ワザグ・シモテ
63	中園	1810~1824	
64	東早稲田	1825~1838	
65	戸成	1839~1861	
66	庵ノ上	1862~1881	
67	杉ノ木田	1882~1890	
68	茶園	1891~1905	
69	政所	1906~1916	
70	屋敷	1917~1943	ホンキョウ・オオソノ
71	石割ヶ迫	1944~1957	
72	丸山	1958~1970	
73	畑田	1971~1990	
74	ミソカレイ	1991~2005	
75	島巡	2006~2055	
76	中河内	2056~2089	オソヨダ
77	東河内	2090~2123	
78	三ツ石	2124~2128	
79	柳ヶ谷	2129~2154	

80 吉ヶ 追 2155~2165  
 81 限リ 追 2166~2173 カギリガサコ  
 82 タノ木 追 2174~2179  
 83 備ヶ 追 2180~2210 ジイゼツ  
 84 竹之 追 2211~2240 フチノハタ  
 85 朴ノ木 追 2241~2263  
 86 柳 渡 2264~2277  
 87 坂 山 2278~2322  
 88 地蔵ヶ尾 2323~2346  
 89 大内ヶ 追 2347~2386  
 90 宮ノ谷 2389~2382 シメダ  
 91 瓦 田 2383~2419  
 92 鴨ノ尾 2420~2444  
 93 栗田ノ 追 2445~2489  
 94 下竹ノ 追 2490~2528  
 95 園イ 追 2529~2556  
 96 内 原 2557~2606  
 97 二 夕 2607~2645  
 98 森ヶ 追 2646~2680  
 99 桃 園 2681~2713 オカタ・ミヤタ・オシヨ  
 ウヤ・マエダ・シマダ  
 100 井ノ尻 2714~2727 シマダ  
 101 森 園 2728~2744  
 102 崖 山 2745~2782 ヒロオサ・ササキ・フカ  
 タ・イゼノウチ  
 103 深 迫 2783~2800  
 104 葉 山 2801~2859  
 105 光 枝 2860~2869

大宇部郡  
 1 日ノ鶴 1~181  
 2 中 林 182~388 シンヤシキ・クルマヤ  
 3 大平前 389~585 オシヨウヤ・ナカゾ  
 ノ・アラハラ・テラダ・  
 サンドンボレ  
 4 呉竹林 586~706 トウノツジ・カクハラ  
 5 カシヤ林 707~904  
 6 大 石 905~995  
 7 池ノ下 994~1036  
 8 一ツ石 1037~1059  
 2046  
 9 小ガクラ 1060~1173  
 10 長 迫 1174~1295  
 11 ソウツ 1296~1375  
 12 内 迫 1376~1507 ウエノテラ  
 13 上ノ平 1508~1607  
 14 峯 平 1608~1736  
 15 茶 園 1737~1776 ウマノリ  
 16 五反田 1777~1831 ウマノリ・ヒノクチ  
 17 西十田 1832~1962 コテイン

18 年ノ神 1963~2045 マツキヤ

大字 藤  
 1 観手ノ内 1~45 ナワツノウチ  
 2 熊 畑 46~104 カド・ホンキョ・イン  
 キョ・カンナ・オダ・  
 ユリガサコ・オカタ・  
 イシブツツケ・タマバタ  
 ケ  
 3 水ヶ 追 105~219  
 4 熊ノ追 220~299  
 5 大 平 300~352  
 6 尾 追 353~405  
 7 茂 原 406~461  
 8 甲ヶ 平 462~497  
 9 山ノ神 498~519  
 10 深 迫 520~568  
 11 紺屋畑 569~623  
 12 立 畑 624~708  
 13 生地尾 709~745  
 14 百合ヶ山 746~802 イゼンダ・ドウカン・  
 15 西ノ追 803~866  
 16 西 追 867~910  
 17 永ヶ 追 911~976 ナカ・ナカゾノ・トコ  
 ラ・カメイシ  
 18 塚 原 977~1008 ナナセ・マルダシ・ヤ  
 マグチ  
 19 道ノ下 1009~1092 イシガマル・スナゴ  
 20 糸 永 1093~1133 ハタゲドウシ・タネツ  
 ネ  
 21 日ノ出 1134~1196 オミナサンヤシキ  
 22 竹 安 1197~1289 タケヤス・クビラ  
 23 古 屋敷 1290~1366 フルヤシキ・ウエノク  
 坂  
 24 城 付 1367~1430  
 25 茶ノ木 1431~1477  
 26 ニタノ 1478~1505  
 27 栗 畑 1506~1524  
 28 川 原畑 1524~1576  
 29 大 迫 1577~1615  
 30 水ヶクボ 1616~1645  
 31 小 河内 1646~1675 オゴウチ  
 32 白ハケ 1676~1708  
 33 夫婦石 1709~1728  
 34 小豆田平 1729~1743  
 35 西田平 1744~1776  
 36 西 田 1777~1828 ニシダ  
 37 壽 1829~1842 シガラミ  
 38 下ノ原 1843~1882 シモノハル

39 茶ノ尾 1883~1892  
 40 音無久保 1893~1917  
 41 平 原 1918~1943 ヒラバル  
 42 金 政 1944~1986 カネマサ  
 43 寺 田 1987~2010  
 44 近 石 2011~2032 チケイシ  
 45 奥 畑 2033~2046  
 46 古 庄屋 2047~2087 コジヨウヤ  
 47 其 田 2088~2108  
 48 六 只 2109~2125  
 49 宮ノ前 2126~2178 ショウゾノ・ミヤスエ  
 50 浦 山 2179~2190  
 51 宮ノ上 2191~2239  
 52 西ヶ 追 2240~2256  
 53 堀 口 2257~2319 エグ・トムシ・タニゲ  
 チ  
 54 政 所 2320~2344  
 55 宮ノ谷 2345~2390  
 56 堀 2391~2408  
 57 佛生田 2409~2430 ダイモン・ハスイケ  
 58 前 田 2431~2494  
 59 山 門 2495~2528  
 60 小 迫 2529~2540  
 61 山 口 2541~2562  
 62 大 山 2563~2617  
 63 峯 2618~2655  
 64 矢 尽 2656~2689 タナサコ  
 65 東 2690~2717  
 66 中 田 2718~2739  
 67 北 畑 2740~2764  
 68 山ノ添 2765~2788  
 69 鳥 越 2789~2821  
 70 鶴 木山 2822~2836  
 71 タタラカネ 2837~2855  
 72 曾世山 2856~2869  
 73 水ヶ台 2870~2880  
 74 喜十坊 2881~2902  
 75 宮 野 2903~2918  
 76 岡 尾 2919~2957  
 77 岡 下 2958~3013 ミゾシダ  
 78 真 敷 3014~3041  
 79 大 畑 3042~3070 ショウウデ  
 80 中 畑 3071~3094  
 81 穴 井本 3095~3119  
 82 向 山 3120~3140  
 83 久 京坊 3141~3166 シタヤマ  
 84 下 山 3167~3177  
 85 尾 田 3178~3205  
 86 長 葉山 3206~3236  
 87 カヤノハナ 3237~3279 クボタ・ヤマノカミ・

88 岡 田 3280~3320 ヒノギレ・オクヘラ  
 ソノダ・ロクジュウ  
 ロッケン  
 89 ラン 畑 3321~3363  
 90 朝ノ追 3364~3382  
 91 崩 枝 3383~3396  
 92 中ノ山 3397~3416  
 93 宮ノ前 3417~3466  
 94 入 口 3467~3512  
 95 的 場 3514~3525 ムコウダ  
 96 葉 田 3523~3538  
 97 栗 田 3539~3545 ハトノテイ  
 98 グミヶ追 3546~3558  
 99 坂 山 3559~3583 イチガサコ  
 100 水ヶ 追 3584~3608  
 101 九 日 田 3609~3637  
 102 フケイ追 3638~3653  
 103 カゲ 平 3654~3675  
 104 源 太郎 3676~3689  
 105 小 迫 3690~3695  
 106 貝ノ追 3696~3705  
 107 上 河内 3706~3719  
 108 大 平 3720~3728  
 109 鬼ヶ 追 3729~3738  
 110 下山川内 3739~3791  
 111 三 郎 迫 3792~3830  
 112 高 原 3831~3868 オソノ  
 113 平 原 3869~3880 マキワラ  
 114 岩 本 3881~3892  
 115 畑ヶ 城 3893~3910  
 116 畑ヶ 中 3911~3925  
 117 平 慶 3926~3931  
 118 尾 迫 3932~3988  
 119 中 畑 3989~3994  
 120 宮ノ脇 3995~3999  
 121 宮ノ谷 4000~4009  
 122 陽 平 4010~4020 アンノシダ  
 123 藤 城 4021~4039  
 124 屋 敷 4040~4046  
 125 本 数 4047~4059 シンタク・テラヤシ  
 キ・ダンジリ  
 126 前 田 4060~4077  
 127 真 貝 4078~4090  
 128 中 野 4091~4108 タノウエ・ナカノジ・ヨ  
 ガタ・ホンキョ・イン  
 キヨ・ソラ

IX 木 森 4109~4129 テラノウエ  
 X ヒワ 道 4127~4140  
 XI 堂ヶ尾 4141~4156  
 XII 阿部ノ木 4157~4184  
 XIII 西ノ谷 4185~4192  
 XIV 備都ヶ道 4193~4234

IX コイデ 4235~4262  
 X 西ノ平 4267~4291  
 XI 中ノ追 4292~4306  
 XII 船ヶ道 4307~4326  
 XIII 野 添 4327~4373 オコウシントウ  
 XIV 勘 山 4374~4408 カンノキ

77・84・94・95・96・97・139・  
 140・167・172・181・219・320・  
 382・386・388・445・589

小野 215(田染弁分)  
 尾立栗尾 118  
 おやま 77(重安名)  
 御こくてん 報-91  
 御はらいてん 報-91  
 御ミタうのまえ 報-89(2)(永正名)

(2) 中世史料に見る名・耕地・屋敷

ここでは、「田染荘史料」から中世地名を抽出し、索引の形でまとめた。なお、横瀬村・上野村に  
 関しては近世地名の拾い出しが可能であるが、今回果せなかった。他日を期したい。

凡 例

1 番号は「田染荘史料」の文書番号。

2 番号中で報-89(1)などあるのは、「量後園田染荘の調査 I」のII-9「文献資料からみた田染」  
 の写真番号である。

あ	飯塚屋敷 報-90(2)(重安・末次名)
赤岩 118	いかり 報-90(1)(重安・末次名)
赤板 63	池田 434(重安分)・435(重安分)
赤板屋敷 445	いけのうち 77(末次名)・332・398(重安・末次名)
赤迫 51・51(末次名)・77(永正名)・177・183(末次名)・184(永正名)・185・報-89(1)(永正名)	いけはのでんち 228(内小野名)
赤左近 367	池部・池辺 82(近弘名)・453(金丸名)
あかいたはけ 308	伊三郎入道屋敷 51
秋吉 167	石王丸名 98・166・175
秋吉次郎方唐屋敷 398(重安・末次名)	298(重安分)
明日岩屋 118	いづつか 60・84・367(重安分)・368・報-89(2)(永正名)
愛宕 325	石丸 77(重安分)
愛宕御草地区 325	井尻 いた
両引 51・77(永正名)・445・報-89(1)(永正名)	伊多伊 118
両引新田 51(永正名)	297
阿弥陀寺 10・174・244	77(重安分)・332・398(重安・末次名)
阿弥陀佛供田 報-89(1)(永正名)	い
あみた佛その 77(近弘名)	いちいき 265
あつらしりよしのはな 330(金丸名)	いづかの三郎屋敷 184
荒平 49・77(近弘名)・82(近弘名)	いづつかのやしき 77
荒平薬師堂 400	井手の口まつはり 349
在原 54(重安名)	永水 21・68・230・306
	永水新方 250
	永水放田 10
い	永水本方 250
飯塚 51・77(末次名)・77・報-90(2)(重安・末次名)	永水本名 173
飯塚三郎火木屋敷 51(末次名)	永水名 3・8・17・18・19・33・42・68・

永水純田 244  
 稲積岩屋 118  
 稲積不動堂 118  
 いのしり 297・340  
 今熊野 122  
 今熊野寺 118  
 今熊山胎藏寺 4  
 井本 139(永水名)  
 いや三郎のその 77  
 いや敷 330(金丸名)  
 いや敷(近弘名) 77(近弘名)  
 いやらくかいのその 77  
 岩脇 564・565

う  
 上野 127・314(金丸名)・327・330  
 上ノ泊町廻 551  
 上野惣次郎屋敷 445  
 宇佐若吉奉寄田 77  
 内小野名 226・253・273・445

え  
 越門 453  
 えぼしだけ 118

お  
 おうしかわら 330(金丸名)  
 大石 453(行成名)  
 大石河原 453(金丸名)  
 大おさ 184(永正名)・185・報-89(2)(永正名)

お・その 77  
 大徳 報-90(1)(重安・末次名)  
 大まかり 284(永正名)・304(永正名)・327・469・報-89(2)(永正名)

大まかり名 593  
 大曲山神 231  
 大山 280(重安・末次名)  
 大彫丸名 27  
 荻 444  
 御こうその 316(重安・末次名)  
 御こうのまえ 228(永正名)  
 おさき 77・77・77・77・82・316(重安・末次名)・319・320・325・332

尾崎屋敷 62・68・79  
 おさこ 335・336・337  
 おその 280(重安・末次名)

か  
 かいもと 236(末久名)・169  
 かうた 77(末次名)  
 かうたの口 報-89(1)(永正名)  
 柿木田 453(行成名)  
 垣本 327・385  
 かしすきてん 77(近弘名)  
 かちやその 139(永水名)  
 かつらまわり 316(重安・末次名)  
 かた 192  
 かとのいやしき 77(永正名)  
 かとのおさき 77(永正名)  
 かとぬはだけ 報-90(2)(重安・末次名)  
 金丸名 27・56・169・212・216・219・220・221・226・228・241・253・255・290・293・314・327・330・385・445・453・465・490・593

金丸名 241・458・495  
 上秋吉名 250  
 上深田 453  
 指部方唐屋敷 398(重安・末次名)  
 からき 報-90(1)(重安・末次名)  
 唐木・加良木 80・83・51・360(末次名)  
 からしま 192  
 かまもと 210  
 河そい 報-89(1)(永正名)  
 かわそいてんち 77(重安分)  
 河そいはだけ 319

報-90(1)(重安・末次名)  
 河そへ 327(永正名)・367(重安名)・報-90(1)(重安・末次名)

河内 河内堂 231  
 河引田 51  
 かから 332  
 河原島 344・355・356・357・358・359  
 かからほりあげ 398(重安・末次名)  
 観音寺 176・331・368・369・397  
 観音寺さこ 報-89(1)(永正名)  
 観音丸 51

き  
 間山岩屋 118  
 岸田 453

きたのそのいやしき 344  
 きやうてん 報一-91  
 清成 9・13  
 く  
 くきつか 192  
 京葉名 98(田染弁分)・166(田染弁分)  
 橋田 211(末次名)  
 くすのき 280(重安・末次名)  
 くすのきのした 77(末次名)・103(永正名)  
 橋木の坪 183(末次名)・347(重安・末次名)  
 398(重安・末次名)・529(末次名)  
 口田 117(光並名)  
 くちと 192  
 口之丸 197・232(永正名)・262・284(永正名)  
 464・496・報一-89(2)(永正名)  
 かつり 497・報一-90(1)(重安・末次名)  
 くばた 192  
 熊野地 448  
 くまの寺 448  
 熊野山 205  
 九郎いやしき 77(2)  
 九郎その 316(重安・末次名)  
 くろくさ 77(重安名)  
 くらさきくま 77(重安名)  
 くらふき名 593  
 桑田 報一-90(1)(重安・末次名)  
 こ  
 香水庵 419(永正名)・526・551  
 高しんか屋敷 324  
 小おき 報一-89(2)(永正名)  
 こくそうの前 330(金丸名)  
 こくそき 77(重安名・重安名)・332・報一-89  
 (1)(永正名)・報一-90(1)(重安・末次名)  
 小久曾廻樂林 145  
 御供田 57(永正名)・522  
 こけら佛 118  
 御薬免 272(重安・末次名)・444(重安分)  
 小泊 197・262  
 ときいはのみを 11(永正名)  
 ときけ 報一-90(1)(重安・末次名)  
 藤之岩 249・250  
 こせんのほら 177  
 小竹 319・320(永永名)・382(永永名)・  
 386(永永名)・388(永永名)・  
 445(永永名)

小手則名 123・133・134・136・137・138・  
 141・144・151・153・155・164・  
 170・177・178・179・180・182・  
 189・190・191・203・207・218・  
 (445)  
 こよけ 77(末次名)・183(末次名)・280(重  
 安・末次名)・319・320・332・398(重  
 安・末次名)  
 御室前田 184(永正名)  
 小塚 77(近弘名)・82(近弘名)  
 小塚方屋敷 398(重安・末次名)  
 惟久屋敷 410(永正名)・412(永正名)  
 惟松 215(田染弁分)  
 是行 9・167(田染弁分)  
 小やふの本 報一-90(1)(重安・末次名)  
 さ  
 西叡山高山寺 4  
 佐き園 139(永永名)・140(永永名)  
 118  
 さくらの尾立 118・284(永正名)・304(永正名)・  
 576  
 追 576  
 きこた 77  
 きき原 227  
 三郎丸 139(永永名)  
 猿喰 63(永正名)・77(永正名)・87(永  
 正名)・197(永正名)・228(永正名)  
 232(永正名)・233(永正名)・  
 303・315・330(金丸名)・441・445・  
 453(金丸名)・464・468・470・  
 473(金丸名)・500(永正名)・501・  
 報一-89(2)(永正名)  
 猿喰の屋敷 272  
 山王田 報一-91  
 し  
 重戸門田 報一-90(1)(重安・末次名)  
 重戸名 77  
 重安 250・434・435・444  
 重安名 31・47・54・60・68・77・79・91・  
 99・123・126・128・132・133・  
 134・136・137・138・139・140・  
 141・142・144・145・146・163・  
 164・165・167・170・178・179・  
 180・182・189・190・191・201・  
 203・204・207・218・257・258・  
 261・271・272・273・274・275・  
 279・285・287・298・301・310・  
 316・326・340・341・345・346・  
 347・354・356・357・358・359・

361・364・367・372・374・376・  
 382・384・385・386・387・388・  
 398・424・430・431・432・436・  
 443・445・452・457・478・490・  
 497・515・516・518・590・591・  
 593・報一-90(1)(2)  
 したのまつほり 349  
 羅原 36・74・139・140・250  
 羅原名 74  
 下羽田 127  
 下原田 453(行成名)  
 十郎かいやしき 77  
 正御供田 285・346・449(吉丸名)  
 正かくはたけ 324  
 常住原その 77(近弘名)  
 上りう 280(重安・末次名)  
 上料田 332  
 尻 報一-90(1)(重安・末次名)  
 二黒三郎かいやしき 92  
 四郎丸 441  
 城のその 139(永永名)  
 志んかい 報一-89(1)(永正名)  
 新聞太郎丸屋敷 589(永永名)  
 しんかいま田 327  
 す  
 すえつき山口 77  
 末次名 34・35・47・51・64・66・71・77・  
 82・91・93・123・133・134・136・  
 137・138・141・151・153・155・  
 164・169・170・177・178・179・  
 180・182・183・184・185・189・  
 190・191・203・207・211・218・  
 250・258・261・272・273・279・  
 285・287・301・316・326・331・  
 345・346・347・354・356・357・  
 358・359・360・364・367・382・  
 385・386・387・388・398・424・  
 430・431・432・436・445・452・  
 453・490・497・515・516・518・  
 529・報一-89(1)(2)  
 すえひき 236  
 末久御所 18  
 すえひきのやしき 236  
 末久名 10・51・167  
 末弘 214  
 末正原屋敷 184(永正名)・185(永正名)  
 末吉 66・77・319・320・345  
 すか六田 453  
 須加申田 59・80・83・87・114・148・154・

156・158・160・213・219・220・  
 221・224・226・228・249・253・  
 293・295・305・327・440・441・  
 445・450・451・453・494・496・  
 539  
 43(行成名)・115  
 清瀧寺 118  
 千口四郎屋敷 184(永正名)  
 千知四郎屋敷 185(永正名)  
 雙六田  
 増寿名 445  
 園田・善田 64(永正名)・115(行成名)・184(永  
 正名)・185(永正名)・295(永正  
 名)・453(金丸名)  
 た  
 大日岩屋 118  
 平倉 546・590・591・593  
 349  
 たうの下鼻  
 たかみのした 551(永正名)  
 高山 118・140  
 田口 116(光並名)  
 匠屋 77(永永名)・139(永永名)・140(永  
 永名)  
 たけそへ 228(永正名)・322  
 たけつおみょう 246・250  
 田楽(匠)弁分 86・98・105・162・166・167・188・  
 215・264  
 田楽別符  
 たたらのはら 77(末次名)  
 田西名 546・590・591・593  
 為包 167  
 為延 82・177・280(重安・末次名)・  
 367(重安名)・報一-90(2)(重安・末  
 次名)  
 為延屋敷 68・77(永正名)・79  
 太郎丸 139(永永名)・140(永永名)  
 田原村 71(末次・永正名)  
 ち  
 近弘名 77・82・250  
 つ  
 つく田 277  
 ついでさこ 報一-90(1)(重安・末次名)  
 つづらさこの尻 77(重安名)  
 つねすへみょう 246・250  
 恒任名 36・48・65・69・75・78・80・83・  
 92・123・133・134・136・137・

138・141・144・147・152・157・159・161・164・169・170・177・178・179・180・182・184・185・189・190・191・203・207・212・216・218・219・220・221・226・228・229・231・248・253・293・326・327・385・445・490・報-89(1)

つね信名  
つへかさこ  
□つは  
藤池  
つるのいけ

と

堂前 185・327  
遠見石 197・262・315・報-89(2)  
徳次郎屋敷 50(永正名)・497(永正名)  
とく大郎その 77(近弘名)  
得太郎屋敷 72(近弘名)  
とくちう 279(重安分)  
とねつしま方屋敷 347  
鳥目岩屋 118  
鳥山(鳥山ヶ) 249

な

中尾その 139(永永名)  
中その 報-90(2)(重安・末次名)  
兵田 116・117・報-90(2)(重安・末次名)  
中津尾岩屋 118  
中津尾山観音寺 4  
長野 176・197・262  
長野くり林 11(永正名)  
長野之原久米之邊屋敷 323(光並名)  
永正屋敷・永正名屋敷・永正屋敷 291・315・349・445・460  
報-462・464・470・531・536・537・報-92  
永政稻伏屋敷 461  
永正本屋敷 報-89(2)(永正名)  
永正名 11・14・26・35・45・46・50・51・57・61・63・64・70・71・77・80・82・83・87・103・109・111・112・113・120・123・133・134・135・136・137・138・141・144・147・151・152・153・155・157・159・161・164・167・169・170・177・178・179・180・182・184・185・189・190・191・197・202・203・207・213・218・219・220・221・

224・226・228・232・239・248・253・281・284・293・295・301・304・305・315・326・327・351・385・410・411・412・419・442・445・467・469・473・490・494・497・500・526・531・538・545・551・552・553・報-89(1)  
永正六郎居屋敷 282・471・472  
長渡 35  
ならはやし名 393  
のりあし(のりあし) 192  
なわてそい 327・報-89(1)(永正名)

に

西野 77(永正名)  
にしのおやま 457(重安名)  
にしのそい 報-89(2)(永正名)  
にしたて 77(永永名)  
如権院 398

の

野すみのくさは 77(末次名)  
のそい地門 233(永正名)  
野添 350・351(永正名)

は

はへのこし(はへのこし) 77(近弘名)  
八枝・八枝田・八枝田 258(重安・末次名)・319・320・332・377・378・394・401・413・445  
はは名 250  
はやしの下畠 77(永永名)  
はやたつ名 250  
羽矢田 54(重安名)・77(永正名)

ひ

ひえ名 246・250  
栗園 331(末次名)・367(末次名)・368・報-90(2)(重安・末次名)  
ひがしのおやま 398(重安・末次名)  
ひりたうのそい 77(永永名)  
ひ五郎のそい 77(永正名)  
ひ野岩屋 118  
ひのくち 280(重安・末次名)・332・398(重安・末次名)・453  
日野 77(重安名)・139(永永名)・258(重安名)・376・377・378・401・413・445  
日野山岩屋寺 4  
ひやうこゝあふたのそい 77(近弘名)

日焼 116・117・169・236(末久名)・258(重安名)・277・308・332・377・378・398・401・413・445  
ひらの大石 315  
ひんかしのそ田 184(末次名)

ふ

深田 453(行成名)  
ふくてん 284(永正名)・報-89(2)(永正名)  
藤浦 10  
馬守 4・118・139・249  
藤本はたけ 報-90(2)(重安・末次名)  
ふしの 453(金丸名)  
両子園 77(永永名)・84  
阿田 453(金丸名)  
ふちの木島 457(重安名)  
佛住田 331(末次名)・368  
古園 77・280(重安・末次名)・332・398(重安・末次名)  
ふへいや太郎やしき 77(近弘名)

ぼ

ぼりあけ 398(重安・末次名)  
ぼり内 324  
本舞 42  
本屋敷 77(永正名)・115(行成名)

ま

まい酒 118  
馬城山 118  
馬城山伝乗寺 4  
牧村・真木色 106・209  
正幸屋敷 232(永正名)  
又四郎屋敷 184(永正名)・185(永正名)  
間戸 564・565  
間戸岩屋 12  
間戸寺 4・118・249・531・532・542  
まとのハラ 77  
間戸原 281(永正名)・284(永正名)・319・320  
まっ□ 報-89(1)(永正名)  
松尾 77・84  
松尾いやしき 77(永永名)  
まつどのけんやしき 77  
まつはら 77(末次名)  
松木 報-90(1)(重安・末次名)  
まつりてん 報-89(1)(永正名)  
前田 報-89(1)(永正名)  
まさはたけ 398(重安・末次名)  
まわたり 103(行成名)・115(行成名)

まん二郎はたけ 271(重安名)  
政所 224・258・312・314・315・399・442・445・483・505・511・525・553・564・565・582

み

みすみはたけ 77  
南そのた 77(永正名)  
みなみのこはたけ 77(永正名)  
みなみのそい 77(永正名)  
南屋敷 64(永正名)  
みのおき 報-90(1)(重安・末次名)  
三野徳次郎屋敷 458  
みたうその 77  
道秀屋敷 327  
光並名 100・104・116・117・169・219・220・221・224・226・237・293・323・327・328・333・334・402・413・415・416・445・490・527

み

光廣 118  
御堂 35・77・322  
御堂上屋敷 51(永正名)  
みね 77・324・497・報-89(1)(永正名)  
基田 51・115(行成名)  
みね名 250  
基屋敷 73

も

森下 89(吉丸名)・90・285・385・449・490・503・600

や

薬師堂 400  
弥三郎方屋敷 398(重安・末次名)  
□やその 報-1(2)(重安・末次名)  
やつへた 236(末久名)  
山下 139(永永名)  
山下美尾 118  
山添 551(永正名)  
山神新田 469  
山之口 77・457(重安名)・報-1(1)(永正名)

ゆ

夕日岩屋 118  
行成名 43・49・52・100・103・104・115・116・167・169・210・214・219・220・226・253・267・293・327・328・385・415・416・445・453・490・527  
ゆの木 192・321・448



よ	
よこやまその	報—90(2)(重安・末次名)
よし重いはい田	報—89(1)(永正名)
吉之内	385・490・495
よし島	197・262
吉松	60・77・177・報—89(1)(永正名)
吉松尻	84
吉丸・由丸	11・167・285・449・497・報—89(2)
吉丸名	42・72・89・90

## 蓮華山富貴寺

ろ	
六太郎美尾	118
わ	
わせ田	330(金丸名)
わたし田	330(金丸名)
網田	51・244(永永名)
わたみやその	280(重安・末次名)
を	
をこさ	183(末次名)
をそののくち	183(末次名)

## 3 近世の墓地と墓碑

報告書Iでは、熊野墓地を中心に墓碑の材質、型式、銘文、分布などについて述べた。ここでは、その補足資料として熊野墓地の墓碑の刻銘年代表とそれに対比できるように墓碑分布図を載せた。分布図中の番号は墓碑を調査した順番でこれを墓碑番号とし、刻銘年代表の基番欄に対応している。また、刻銘年代表の碑型欄では屋根付地藏浮彫型を屋地浮のように省略したものがある。同じく、材質欄では安は安山岩、凝は凝灰岩を示す。これらの表や図をもとにさらに考察をしてみよう。

刻銘年代表と比較する資料として後藤俊三郎氏所蔵文書がある。この文書は簿冊と横帳よりなり、その内容からほぼ同時期に書かれたものと思われる。簿冊には下記の事例が記されている。

寶永五<sup>丁</sup>年

豊後國熊野屋床検地帳

三月二日

一 式畝廿四歩	※仁助
一 壹畝三步	太助
一 壹畝	九兵衛
一 式畝廿壹歩	※仁右衛門
一 式畝拾貳歩	※与右衛門
一 壹畝	理助
一 廿四歩	※源四郎
一 壹畝六歩	平吉
一 式畝廿壹歩	半三郎
一 式畝廿七歩	※市之助
一 四畝	善七
一 式畝拾貳歩	勘兵衛
一 拾八歩	作之助
一 四畝三步	※作兵衛
一 三畝拾八歩	弥六郎
一 壹畝九歩	太左衛門
一 壹畝六歩	※太右衛門
一 壹畝九歩	吉蔵
一 式畝廿四歩	※平六
一 四畝廿四歩	※弥惣

- 一 式歌九歩 傳助
- 一 巻歌六歩 久太郎
- 一 巻歌 兼惣三郎
- 一 我歌廿四歩 清助
- 一 式歌九歩 兼市郎

反歌ノ五反四歌九歩

此屋敷数武拾五軒

右本帳除地所跡之年賀諸役者免除

寶永五<sup>丁</sup>三月二日 森本作平

太田治助

種村七左衛門

種村新五兵衛

田 竹右衛門

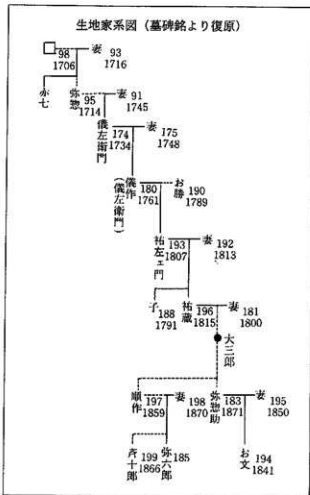
熊野村

大庄屋

小庄屋

また、横帳には胎藏寺や山神、地藏などについても記されている。上記25名のうち刻銘年代表にその名を確認できる者は11名(名前の前に兼印を付けた者)である。善七が善兵衛などと改名したと考えるときさらに3名が追加されるが、ここでは一応11名の確認にとどめておく。一方、墓碑には俗名等が全く刻まれていないものがある。これらの事から墓碑はこの当時半数程度が建てられていたと判断される。この検地帳に見える弥惣は刻銘年代表の墓碑番号95、西暦1714年【以下墓碑95(1714)のように略す】に見える生地弥惣と同一人物であることは間違いない。生地家は代々庄屋を務めていた家柄で屋敷の大きさもそれを肯定する。また、墓碑287(1705)と検地帳を比較することで作兵衛と市之助は兄弟で、父慶は次郎左衛門であることがわかる。このように墓碑と検地帳は互いを補う資料となりうる。

表や分布図をもとに家系図を作れるであろうか。庄屋であった生地家の家系図の作製を試みてみよう。生地家の墓碑には戒名に居士・大姉の号を刻み、墓碑には墨根様のものを乗せているものが多い。また、報告書Iで述べたように生地家の墓碑は分布図中の91番から102番までと174番から199番まで(以下それぞれA、Bゾーンとする)のそれぞれの間にかたまっており、これがいわゆる生地家の墓域と呼ばれる部分である。生地家は近代に入って熊野村から姿を消し家系図などの文書類は現存しないが、上記の点と横帳村庄屋文書類を参考にして次頁の家系図を作ってみた。名前の横の数字は上



碑91(1745)は存在するがこの母が弥惣の妻であるかどうかはわからない。しかし、備左衛門が母よりも早く亡くなり墓碑の位置もAゾーンからBゾーンへと離れてしまうのに対して、連れて亡くなる母の墓碑はAゾーンへ建てられる。この位置に建てなければならない理由は、夫の墓が近くにあるからだと考えられる。つまり、弥惣と備左衛門の間にくる墓碑もないことから弥惣の妻となる。ここで、亦七の母の墓碑が享保でなく正保か天保であればそれぞれ古すぎた新すぎない。寛保元年(1741)であれば、備左衛門の母の墓碑と二基が存在することになりおかし。それで享保と考え弥惣の母とした。備左衛門と備作の関係は、備作の母の墓碑175(1748)が存在し、しかも備左衛門の墓碑174(1734)のすぐ近くにあり他に相当する墓碑もないことからこの二基が夫婦の墓であることは間違いない、それで備作は備左衛門の子供となる。また、天保5年に書かれた宝暦2年(1752)田染祭礼出来制府帳の写し(報告書I掲載)には庄屋として生地備左衛門の名が見える。しかし、備左衛門はこの時すでに亡くなっていることから、その子供である備作が改名して父慶と同じ備左衛門を名乗ったと考えられる。お勝の墓碑190(1789)には生地家と直接結び付くような文字は刻まれていない。しかし、墓碑

が墓碑番号を下が没年の西暦を示す。生地姓を持った墓碑が最初に確認されるのは墓碑394(1694)である。この墓碑は地藏形型であることから女性か子供の墓と考えられる。しかし、俗名の生地弥惣以下4文字が判読できずどちらともいえない。次に確認できるのは先述した生地弥惣の墓碑である。さらに次に確認できるのは墓碑93(1716)である。この墓碑が享保かどうか判読に苦しむところであるが、その位置関係から享保と考え弥惣の母にあててみた。また、俗名等には生地亦七母と刻まれているが、亦七本人の墓碑は熊野墓地で確認できなかった。この亦七の母に対して父はどの墓碑に相当するのかを考えてみると墓碑98(1706)が浮かんでくる。この墓碑の俗名等は判読できなかったが、墓碑の型式、位置などから最速かと思われる。いずれにしても弥惣と直接結び付く資料も存在せず、破線で結んでおく。次の備左衛門と弥惣も同じく破線である。備左衛門の母の墓碑91(1745)は存在するがこの母が弥惣の妻であるかどうかはわからない。しかし、備左衛門が母よりも早く亡くなり墓碑の位置もAゾーンからBゾーンへと離れてしまうのに対して、連れて亡くなる母の墓碑はAゾーンへ建てられる。この位置に建てなければならない理由は、夫の墓が近くにあるからだと考えられる。つまり、弥惣と備左衛門の間にくる墓碑もないことから弥惣の妻となる。ここで、亦七の母の墓碑が享保でなく正保か天保であればそれぞれ古すぎた新すぎない。寛保元年(1741)であれば、備左衛門の母の墓碑と二基が存在することになりおかし。それで享保と考え弥惣の母とした。備左衛門と備作の関係は、備作の母の墓碑175(1748)が存在し、しかも備左衛門の墓碑174(1734)のすぐ近くにあり他に相当する墓碑もないことからこの二基が夫婦の墓であることは間違いない、それで備作は備左衛門の子供となる。また、天保5年に書かれた宝暦2年(1752)田染祭礼出来制府帳の写し(報告書I掲載)には庄屋として生地備左衛門の名が見える。しかし、備左衛門はこの時すでに亡くなっていることから、その子供である備作が改名して父慶と同じ備左衛門を名乗ったと考えられる。お勝の墓碑190(1789)には生地家と直接結び付くような文字は刻まれていない。しかし、墓碑

の位置や脚字あるいは生地家の代々の妻たちが田染以外から嫁いで来る場合にその生国を墓碑に刻む特徴にも合致することから儀作の妻である可能性は非常に高い。儀作と祐左エ門の関係は、墓碑180(1761)には生地祐左エ門父としか刻まれていないが、墓碑の位置とその戒名の中に儀の一子が見えることから儀作(儀左衛門)の墓碑であることは間違いないと、祐左エ門は儀作の子供となる。祐左エ門とその妻や子供については墓碑から確認できる。祐左エ門と祐蔵の関係も墓碑の位置やそれらに確認できる。祐蔵と弥惣助の関係については墓碑から判断できない。天保2年(1831)田染三所八幡宮祭礼改正規定書(報告書I掲載)には庄屋として生地大三部の名が見える。しかし、大三部の墓碑は熊野墓地では確認できなかった。一方、前述した郡府帳に天保5年(1834)の庄屋として生地弥惣助の名が見える。祐蔵と弥惣助の間には年齢的に大きく開きがあることから大三部を一代置くことも考えられる。また、大三部が改名して弥惣助を名乗るとも考えられる。可能性としては後者の方が高かろう。弥惣助とその妻や子供お文については墓碑から確認できる。弥惣助と順作の関係は直接結び付くような資料は存在しないが、二人の戒名にそれぞれ翁の一字が見え、かなり高齢まで生存していたことがわかり、さらにその没年の開きもありないことから兄弟と考えられる。青十郎の墓碑にも他と関係するような文字はなく、かりに弥惣助や順作と兄弟だとすると戒名の中に翁の字があってもおかしくはない。また、弥惣助の子供であれば弥惣助が生存していた時期でもあり、その子お文の墓碑と同様ならんかの繋がりを示す銘文が刻まれていたはずである。とすれば順作の子供の可能性が高い。弥六部とその母については墓碑198(1870)から確認できる。すでに弥惣助の妻の墓碑195(1850)が存在することから弥六部は弥惣助の子供となく順作の子供と考えられる。

墓碑の俗名等に生地家○代○と刻まれたものがある。5代が一人で6、7、8代がそれぞれ二人である。しかも、このように書かれた墓碑の主はほぼ全員が後継姓である。生地家の次男、三男が生地家を出て後継姓を名乗るのかとも考えたが判然としない。いずれにしても生地家と深い繋がりがあることは間違いない。

熊野墓地(1)(II)の刻銘年代表

墓番	没年月日	西暦	或	名	俗名	等	碑型	材
145	大永七年 <sup>甲</sup> 八月十七日	1527	染	印忍男 染 亮 三 郎			圓東塔	安
94	天文六年 <sup>丁</sup> 五月十八日	1537		施主敬白			石 殿	覆
92	富天文十年 <sup>甲</sup> 三月六日	1541		道淨				〃
151	天正十五	1587		淨〇妙融			圓東塔	〃
423	万治四 <sup>甲</sup> 天八月十八日	1661	筑	浪山妙盛尼堂位	張〇 〇	〇	板 碑	安
200	延宝五 <sup>〇</sup> 十月 〇	1677			〇	女	地 浮	〃

408	延宝六 <sup>甲</sup> 天三月五日	1678	筑	浪山妙盛尼堂位	をか母		板 碑	安
339	延宝六 <sup>甲</sup> 天五月二十八日	〃	筑	泉秋道普堂位	〇生地五代 後藤四郎左エ門		〃	〃
400	延宝七 <sup>甲</sup> 天十一月十一日	1679	筑	了本妙法尼天位	布之母		位 牌	〃
298	天和二年五月八日	1682	筑	一慶妙心信女天			板 碑	〃
299	天和二 <sup>丁</sup> 天八月二十二日	〃	筑	了翁自得堂位			〃	〃
390	貞享四 <sup>甲</sup> 天四月二十一日 元禄四 <sup>甲</sup> 天二月三日	1687 1691	筑	高徳宗心堂 林本妙天	八十二 六代目		自然石	〃
104	元禄四 <sup>甲</sup> 天十一月初八日	1691	筑	筑廣門山居士天位	〇海軍六代 身有門 立之 所所住人後藤兵衛名左衛門 宗助介 〇		位 牌	〃
293	元禄四 <sup>甲</sup> 天十一月十四日	〃	筑	弘道廣心居士〇	俗名太郎右門尉盛久 天右門 〇		舟	〃
394	元禄七 <sup>丁</sup> 天八月九日	1694			生地弥〇〇		地 浮	〃
334	元禄七年 <sup>丙</sup> 八月二十九日	〃	筑	秋寛淨定門天	俗名松本大兵衛女		位 牌	〃
374	元禄七 <sup>丁</sup> 天九月一日	〃	筑	高月種園童子	つち四介		板 碑	〃
152	元禄十 <sup>丁</sup> 天九月十三日	1697	筑	權律師廣尚法眼和南位			位 牌	〃
121	元禄十 <sup>〇</sup> 〇十一月十九日	〃	筑	眞實遠久禪定門堂	後藤四郎〇 惣三員〇		板 碑	〃
348	元禄十二年十二月二十日	1699	筑	泉雪妙信禪定尼天			〃	〃
211	元禄十三年 <sup>甲</sup> 六月九日	1700	筑	空室淨信居士天			位 牌	〃
341	元禄十五年 <sup>乙</sup> 七月二十一日	1702	筑	頼心妙用信女堂位			板 碑	〃
59	元禄十六 <sup>甲</sup> 天十月二十六日	1703	筑	江月霜雪禪定門	俗名井堀八右衛門 子仁介 弥万四		位 牌	〃
63	宝永元 <sup>〇</sup> 〇三月八日	1704	筑	眞海空 <sup>〇</sup> 禪定門	井堀才兵衛女		板 碑	〃
66	宝永元 <sup>甲</sup> 〇三月二十四日	〃	筑	頼元器入禪定門	井堀元四郎〇		〃	〃
103	宝永元 <sup>甲</sup> 〇十月二日	〃			〇		地 浮	〃
157	宝永元 <sup>甲</sup> 〇十一月十五日	〃	筑	眞權律師清海和南位	〇 〇 〇 〇 頼主 徳 被藤氏 あき 子志ち		位 牌	〃
287	宝永二 <sup>〇</sup> 〇天二月五日	1705	筑	右京道門居士堂位	後藤次郎左衛門 作兵衛 女 市之助		〃	〃
100	宝永三 <sup>〇</sup> 〇天二月十六日	1706			〇		地 浮	〃
98	宝永四 <sup>甲</sup> 天九月十日	〃	筑	高深院月江光苑土堂			〃	〃
290	宝永四 <sup>甲</sup> 天二月四日	1707	筑	眞善法妙西禪定尼堂位	藤〇部 〇助母 阿三七三郎		板 碑	〃

47	宝永五年 <sup>甲</sup> 五月十七日	1708	我 尊光妙善淨定尼	井邊市兵衛 善主 同善兵衛 立之	板 碑	安
127	宝永五 <sup>丁</sup> 天六月六日	#	我 香花蓮空淨定尼	金勝院才 惣三郎 <sup>口口</sup>	# #	# #
109	宝永六 <sup>己</sup> 三月七日	1709		口口久七三 <sup>口口</sup>	地 浮	# #
349	宝永六 <sup>丙</sup> 天八月二十二日	#		生地家八代 國藤兵七工門子 兵吉	# #	# #
300	宝永六 <sup>天</sup> 十月八日	#		口口 七 <sup>口</sup> 中	# #	# #
284	宝永七年五月九日	1710	我 蓮性冥休居士矣	七代目俗名後藤赤之介 行徳五十九才 子尚名右衛門 徳之	板 碑	# #
282	宝永七年八月二十四日	#	我 清月妙敬僧女矣	口右工門母	# #	# #
213	正徳元年 <sup>甲</sup> 八月十八日	1711	我 峯月妙信女矣		位 牌	# #
353	正徳元年十二月十八日	#	我 梅山道無淨定門矣位		板 碑	# #
95	正徳四 <sup>甲</sup> 天八月十五日	1714	我 拒峯淨運居士靈	生地勢恐	笠塔婆	# #
167	正徳六 <sup>丙</sup> 五月八日	1716	我 華月妙秀僧女矣	後藤清七 同六三郎母	板 碑	# #
19	享保元年 <sup>丙</sup> 五月十二日	#	我 龍山智藏淨定門靈位	七代目後藤右工門 子清七 六三郎 立之	# #	# #
170	享保元 <sup>丙</sup> 五月十七日	#	我 元心智軍童子靈位	井邊市 <sup>口口</sup> 庄七 <sup>口</sup> 六	# #	# #
122	享保元 <sup>丙</sup> 天七月二十六日	#	我 一葉妙心淨定尼靈	後藤氏 金勝院 <sup>口口</sup> 忠志兵衛 高橋 <sup>口口</sup> 卯兵衛	位 牌	# #
173	享保元年 <sup>甲</sup> 八月二十九日	#	我 秋岸宗伯居士靈位	小林弥四良	板 碑	# #
48	享保元年 <sup>甲</sup> 九月七日	#	我 幽露童子 <sup>口</sup>	松斗傳右衛門子 権五郎	# #	# #
93	享保元年	#	我 法曹妙善淨定尼靈位	生地赤七母	笠塔婆	# #
240	享保二年 <sup>丙</sup> 九月十五日	1717	我 秋光道月僧士	口 <sup>口</sup> 右工門 母	位 牌	# #
168	享保三 <sup>甲</sup> 天三月十七日	1718	我 香花童女矣	井邊市兵衛娘	板 碑	# #
281	享保三年 <sup>丙</sup> 十月十一日	#	我 白相妙敬僧女矣位		位 牌	藏
351	享保六年十月二十九日	1721	我 秋藏宗清法師矣	後藤権三郎	板 碑	安
305	享保六年十二月二日	#	我 妙蓮淨定尼矣		位 牌	# #
319	享保七 <sup>甲</sup> 天五月六日	1722	我 夏月自爾淨定尼矣	与兵母	# #	# #
294	享保七年 <sup>甲</sup> 十二月二十二日	#	我 有現道通居士靈位		# #	# #
424	享保八 <sup>天</sup> 十月十七日	1723	我 寿苑 <sup>口</sup> 僧士矣位	又 <sup>口</sup>	# #	# #

320	享保十一 <sup>丙</sup> 歲三月六日	1726	我 宗玄了露淨定門靈位	松計与兵衛娘	笠塔婆	安
291	享保十一 <sup>丙</sup> 天五月五日	#	我 淨賢宗賢僧女	阿彌 <sup>口</sup> 左工門母 立石村 惣右衛門	位 牌	# #
288	享保十二年十二月二十一日	1727	我 梅宗岸童子	後藤 <sup>口</sup>	# #	# #
128	享保十三年 <sup>甲</sup> 正月朔日	1728	我 真覺性蓮僧女靈位		# #	# #
11	享保十四年 <sup>丙</sup> 天四月二日	1729	我 曾月慈林僧女靈位	藤原氏後藤仁右衛門母	# #	藏
289	享保十四年 <sup>丙</sup> 七月二十二日	#	我 首實親岸居士矣	後藤市右衛門	尖 角	安
132	享保十六 <sup>丙</sup> 天十二月二十六日	1731	我 時光宗臨僧士	俗名基左衛門	位 牌	# #
318	享保十八年三月十二日	1733	春光寿照僧女	後藤 <sup>口</sup> 内	# #	# #
208	享保十八年 <sup>甲</sup> 六月十三日	#	我 德白自仙僧女矣		地 浮	# #
296	享保十八年 <sup>甲</sup> 七月五日	#	我 露白妙敬淨定尼矣		板 碑	# #
330	享保十九年三月十六日	1734	我 玄爾了露僧士	口 <sup>口</sup> 氏俗名松本平六	位 牌	# #
174	享保十九年七月十六日	#	我 鉄鏡宗心居士靈矣	生地儀左衛門	笠塔婆	# #
171	享保二十年 <sup>甲</sup> 八月十一日	1735	我 自寬童子矣		# #	# #
278	元元元年 <sup>甲</sup> 二月十二日	1736	半五妙種僧女	市左衛門娘	地 藏	# #
154	元元三 <sup>丙</sup> 天十月六日	1738	我 権少僧照胎元和尚位		無題塔	藏
172	元元四年三月四日	1739	我 妙円童女靈位		板 碑	安
318	元元五年 <sup>甲</sup> 九月六日	1740	我 静風妙敬僧女矣		位 牌	# #
169	寛保元年 <sup>甲</sup> 五月十日	1741	我 鉄岸宗榮淨定門矣	俗名松本武左衛門貞勝	# #	藏
311	寛保二年 <sup>丙</sup> 七月二日	1742	輪月自光僧女靈位	後藤明右門母	# #	# #
302	寛保二年八月初一日	#	我 廣智自德淨定門	をたつ	# #	安
395	寛保二年 <sup>丙</sup> 八月三日	#	我 智善童子矣位		# #	# #
67	寛保三 <sup>甲</sup> 天三月十八日	1743	我 徳 <sup>口</sup> 僧士	生地	# #	# #
344	延享元 <sup>甲</sup> 天四月十三日	1744	我 美岸宗仙居士靈位	藤原氏後藤仁右門	# #	# #
91	延享二 <sup>丙</sup> 五月二十五日	1745	我 宝空松屋大姉靈位	儀左衛門母	# #	# #
270	延享二 <sup>天</sup> 五月二十九日	#	宗玉玄清僧士靈位	藤原氏後藤利右門父	# #	藏

18	延享二年八月十八日	1745	撰廣月宗願	俗名生地伊平		位 牌	藏
295	延享 <sub>2</sub> 年九月八日	〃	撰了智童子矣			〃	安
26	延享 <sub>2</sub> 年十月九日	〃	撰空原妙圓園靈位	□□□		〃	〃
279	延享三年三月初日	1746	撰惠南了順信女矣			〃	〃
6	延享五年二月二十三日	1748	撰清林道親信士	俗名後藤伊左門		〃	藏
175	寬延元年七月二十一日	〃	撰秋月兼道大帥矣	生園立石平塚村 儀母		〃	安
69	寬延元年七月十六日	〃	撰真月了心信士	松計□□		板 碑	〃
25	宝曆二 <sub>二</sub> 年九月二日	1752	撰秋月道智信士矣	生地六三良		位 牌	〃
266	宝曆三年十一月十三日	1753	冬妙清信女矣	後藤市左衛門才女		天地浮 覆	〃
277	宝曆三年十一月二十二日	〃	無位妙白童女矣位	後藤市左衛門娘		〃	〃
27	宝曆五 <sub>五</sub> 年正月十一日	1755	撰西岸淨信士靈位	藤原氏松斗信右門		位 牌	安
255	宝曆五 <sub>五</sub> 年二月八日	〃	撰東條淨安信士靈位	俗名後藤市左門父		〃	〃
256	宝曆五 <sub>五</sub> 年二月八日	〃	撰東岸妙信女靈位	俗名後藤市左門母		〃	〃
156	宝曆五 <sub>五</sub> 年九月十日	〃	撰大阿闍梨良和兩位			無懸塔 覆	〃
179	宝曆八 <sub>八</sub> 年二月二十八日	1758	西岸順道信士靈位			位 牌	安
292	宝曆九 <sub>九</sub> 年四月十二日	1759	南無觀世音菩薩	当村住人俗名後藤 <sub>二</sub> 左工門 藤原氏後藤利右工門 □□之		〃	〃
176	宝曆十 <sub>十</sub> 年五月二十九日	1760	撰 <sub>二</sub> □ <sub>一</sub> 淨永信士矣	俗名松本武右門		〃	〃
308	宝曆十 <sub>十</sub> 年七月十一日	〃	撰雪岩信真居士	藤原氏 <sub>二</sub> 藤兵衛		〃	〃
180	宝曆十一 <sub>一</sub> 年三月二十三日	1761	撰善藏儀貞居士靈位	生地祐左衛門父		〃	〃
303	宝曆十一 <sub>一</sub> 年八月五日	〃	撰秋月妙仙信女靈位	後藤千歳母		〃	〃
23	宝曆十三 <sub>三</sub> 年正月十八日	1763	撰春妙光信女	伊左工門妻		〃	〃
33	宝曆十四 <sub>四</sub> 年四月二十八日	1764	撰華山妙蓮信女靈	松計源 <sub>二</sub> □ <sub>一</sub> 母		〃	〃
253	明和元 <sub>元</sub> 年七月九日	〃	撰妙清童女			〃	〃
34	明和元 <sub>元</sub> 年七月十日	〃	撰東相貞心信女靈	□		〃	〃
126	明和 <sub>二</sub> 年十二月〇日	1765	撰東岸宗善童			〃	〃

191	明和三 <sub>三</sub> 年正月二十二日	1766	撰華屋淨蓮信女	松斗 <sub>二</sub> 〇 <sub>一</sub> 母		位 牌	安
252	明和三 <sub>三</sub> 年三月十日	〃	撰春光宗 <sub>二</sub> 信士靈	俗名 <sub>二</sub> □ <sub>一</sub> 工門		〃	〃
385	明和六 <sub>六</sub> 年二月十九日	1769	撰西念淨顯信士靈位	父安右工門		〃	〃
360	明和六 <sub>六</sub> 年二月二十六日	〃	撰貞心相久信士			〃	藏
355	明和七 <sub>七</sub> 年三月十五日	1770	撰陽岸泰運信士			〃	安
312	明和七 <sub>七</sub> 年四月二十九日	〃	撰輝岸妙貞信女			〃	藏
250	明和八 <sub>八</sub> 年十二月十一日	1771	撰東岸貞心信女靈位	藤原後藤作兵工娘 利平女孀		〃	安
388	明和九 <sub>九</sub> 年六月二十六日	1772	撰惠海道親信士靈位			〃	藏
182	明和九 <sub>九</sub> 年十一月十一日	〃	撰山妙圓信女			地 浮	〃
235	安永三 <sub>三</sub> 年九月九日	1774	秋津宗善信士	後藤 <sub>二</sub> 右工門		位 牌	安
71	安永三 <sub>三</sub> 年十一月十日	〃	撰廣月妙性信女	弥平子		〃	〃
226	安永三 <sub>三</sub> 年十一月二十六日	〃	撰夏屋妙林信女	西良右工門女孀		〃	〃
189	安永四 <sub>四</sub> 年二月二十五日	1775	撰春花宗賢信士	俗名善代七		〃	〃
184	安永四 <sub>四</sub> 年六月二十六日	〃	撰觀音妙忍信女	俗名圓狂 <sub>二</sub> □ <sub>一</sub>		〃	〃
231	安永四 <sub>四</sub> 年七月七日	〃	撰真顯唐信士			〃	藏
186	安永四 <sub>四</sub> 年七月二十四日	〃	撰露月淨知信士	太右門子		〃	安
30	安永四 <sub>四</sub> 年十二月十日	〃	撰珠光妙賢信女	□□□		地 藏	覆
315	安永四 <sub>四</sub> 年十二月二十四日	〃	撰寿灯童子			位 牌	〃
307	安永八 <sub>八</sub> 年八月二十七日	1777	撰智童童子靈位			管塔婆	安
306	安永七 <sub>七</sub> 年五月十二日	1778	撰幼童女矣	宝作娘		位 牌	〃
70	安永七 <sub>七</sub> 年八月八日	〃	撰宗源信士	俗名龍藏		〃	〃
379	安永七 <sub>七</sub> 年十二月四日	〃	撰西岸宗信士灵	父後藤林嘉		〃	〃
76	安永八 <sub>八</sub> 年正月二十五日	1779	心月宗清信士			〃	〃
230	安永八 <sub>八</sub> 年三月十七日	〃	撰寿灯童子	六左工門子		〃	〃
237	安永八 <sub>八</sub> 年七月三日	〃	撰秋月妙清信女	下黒敷 權三郎内 俗名さん		〃	藏

45	天明元 <sup>9</sup> 天十月二十四日	1781	【清辨宗崇信士	松斗赤平	位 牌	安
43	天明二 <sup>9</sup> 天六月八日	1782	円山了光信士	國藤兵衛寛	〃 〃	〃
131	天明三年九月八日	1783	秋月妙顯信女	被 <sup>レ</sup> 工門子喜心	〃 〃	〃
8	天明四 <sup>9</sup> 天九月二十五日	1784	惠實妙顯信女	大 <sup>〇</sup> 部女房	〃 〃	〃
403	天明五 <sup>9</sup> 天二月十二日	1785	【西岸知源信士位	後藤太右エ門	〃 〃	安
227	天明五 <sup>9</sup> 年十月十九日	〃	【心月宗普信士	四郎右エ門	〃 〃	〃
226	天明六 <sup>9</sup> 正月二十三日	1786	【宗岸知源信士		〃 〃	〃
229	天明六 <sup>9</sup> 歲正月二十三日	〃	【宗岸知源信士	生地東八代尊後藤六左エ門 番子軍平 次男是四兵衛	〃 〃	安
316	天明六 <sup>9</sup> 年二月九日	〃	普養宗崇士	藤原氏後藤利右エ門	〃 〃	〃
74	天明六 <sup>9</sup> 年十二月十日	〃	智善童子信士	喜平子	〃 〃	〃
13	天明七 <sup>9</sup> 天正月二日	1787	【春祥童女	幸右門子	〃 〃	〃
254	天明七 <sup>9</sup> 三月六日	〃	華山妙敬信女	七平才	〃 〃	安
80	天明八 <sup>9</sup> 年十月十五日	1788	【宗岸妙清女		〃 〃	〃
190	寛政元 <sup>9</sup> 天正月二十四日	1789	【海屋妙空大師位	生園作兼中野村 当村 幼勝	〃 〃	〃
58	天明九 <sup>9</sup> 天八月十五日	〃	【秋月妙意女		〃 〃	〃
153	寛政元 <sup>9</sup> 歲十二月二十五日	〃	【弘少僧養良續法顯和願位		無懸塔	〃
313	寛政二 <sup>9</sup> 天八月二十日	1790	【早世秋夢童子位		位 牌	〃
259	寛政三年 <sup>9</sup> 七月七日	1791	早世如幻童女	新吉小 をつや	〃 〃	〃
188	寛政三 <sup>9</sup> 天八月朔日	〃	【自念童女	祐左エ門子	〃 〃	安
301	寛政三 <sup>9</sup> 天八月二十四日	〃	【了空智玉僧士位		〃 〃	〃
378	寛政四 <sup>9</sup> 四月八日	1792	栗岸妙清信女		〃 〃	〃
66	寛政四 <sup>9</sup> 七月二十八日	〃	【普妙童女		〃 〃	〃
3	寛政四 <sup>9</sup> 天八月初四日	〃	秋山道清信士	後藤政平事	〃 〃	〃
204	寛政五 <sup>9</sup> 天六月十二日	1793	圓澤珠光僧士位	後藤長左衛門	〃 〃	安
32	寛政六 <sup>9</sup> 七月二十日	1794	一塵妙顯信女		〃 〃	〃

283	寛政六 <sup>9</sup> 天十一月七日	1794	【寛山唯教信士位	市左衛門	位 牌	〃
239	寛政七 <sup>9</sup> 天六月二十四日	1795	夏月妙雲信女	下ノヤシキ 権三郎母	〃 〃	安
73	寛政九 <sup>9</sup> 天三月二十八日	1797	蓮中童子	喜平子	〃 〃	〃
29	寛政九 <sup>9</sup> 七月十三日	〃	【秋峰印證信士位		〃 〃	〃
369	寛政九 <sup>9</sup> 天十月十七日	〃	【狭口童子位	林満子	〃 〃	〃
205	寛政十 <sup>9</sup> 天正月七日	1798	新門波春雄自願信士		〃 〃	〃
370	寛政十 <sup>9</sup> 天十月十日	〃	道実明照信士	松本武左エ門	〃 〃	〃
251	寛政十一 <sup>9</sup> 八月九日	1799	秋月自光	利	無懸塔	〃
304	寛政十一 <sup>9</sup> 天八月十六日	〃	勝室静念僧士塔	後藤幸助 寛	位 牌	〃
265	寛政十一 <sup>9</sup> 天八月二十一日	〃	如幻童女		〃 〃	〃
410	寛政十一 <sup>9</sup> 天八月二十三日	〃	【秋山教親居士位		笠笠要	〃
81	寛政十一 <sup>9</sup> 天八月二十八日	〃	秋夢童女	喜平子	位 牌	〃
413	寛政十一 <sup>9</sup> 天十二月朔八日	〃	【悲願童子		〃 〃	〃
181	寛政十二 <sup>9</sup> 歲六月十八日	1800	雷室智尊大塔	生地祐藏室	笠笠要	安
415	享和元 <sup>9</sup> 天八月七日	1801	早世淳宗童女		位 牌	〃
269	享和二年 <sup>9</sup> 九月七日	1802	早世智光童子位		天地浮	〃
399	享和三 <sup>9</sup> 天五月十二日	1803	【清山悟道信士位	後藤安平	位 牌	〃
20	享和三 <sup>9</sup> 五月二十四日	〃	【東岸妙心信女	仙右門女房	〃 〃	安
232	享和三 <sup>9</sup> 天七月朔日	〃	【寿永童女		〃 〃	〃
387	享和三 <sup>9</sup> 八月十二日	〃	【秋峯童子	後藤林童子 徳次良	〃 〃	〃
384	享和三 <sup>9</sup> 天九月十四日	〃	【口 <sup>〇</sup> 謹妙相信女	後藤林童母	〃 〃	〃
367	文化元 <sup>9</sup> 天八月二十五日	1804	【秋峯宗玄信士	松本宇右エ門	〃 〃	〃
416	文化元 <sup>9</sup> 天九月二十五日	〃	【秋峯妙安信女	民藏母	〃 〃	〃
418	文化元 <sup>9</sup> 天十月二十五日	〃	【初冬智寛信女	民藏妹	〃 〃	〃
79	文化元 <sup>9</sup> 歲十二月四日	〃	【東岸淨安信女位	アセキ	〃 〃	安

407	文化三 <sup>三</sup> 天六月二十二日	1806	釈無形摩訶僧女位		笠塔婆	安
402	文化四 <sup>三</sup> 天二月二十四日	1807	一円童女	濱西郎子	位牌	藏
193	文化四 <sup>三</sup> 天四月十日	#	釈円峯親連居士	生地祐左エ門	#	安
207	文化四 <sup>三</sup> 天九月二十六日	#	釈実相妙蓮僧女	後藤長母	#	#
2	文化四 <sup>三</sup> 天十月十日	#	寂摩伴妙覺僧女	吾藤幸右衛門才	#	藏
177	文化四 <sup>三</sup> 天	#	釈自性院 <sup>三</sup> 僧尼		無縫塔	安
398	文化五 <sup>三</sup> 天三月二十一日	1808	釈 <sup>三</sup> 山教如僧士	<sup>三</sup>	位牌	#
361	文化五 <sup>三</sup> 天閏六月十六日	#	釈是生童子	注助子	#	藏
272	文化五年 <sup>三</sup> 天七月五日	#	釈秋山妙清僧女	後藤磯母	#	#
234	文化八 <sup>三</sup> 天六月二十六日	1811	釈應樂童子	後藤富子	#	#
414	文化十 <sup>三</sup> 天九月二十一日	1813	釈樂宣芳繁僧女	後藤兵右衛門母 分	#	安
366	文化十 <sup>三</sup> 天十一月二十九日	#	釈寒月西教僧女	松本宇右エ門娘	#	#
192	文化十 <sup>三</sup> 天十二月八日	#	釈飯崎妙空大師	生地祐藏母	#	#
417	文化十一 <sup>三</sup> 天八月二十一日	1814	釈 <sup>三</sup> 前淨休僧士	後藤兵右衛門	#	#
382	文化十一 <sup>三</sup> 天八月二十四日	#	釈秋山西教僧女	後藤林童子 俗名 <sup>三</sup>	#	#
196	文化十二 <sup>三</sup> 天七月二十四日	1815	釈放一淨光居士	生地祐藏	#	#
28	文化十三 <sup>三</sup> 天 <sup>三</sup> 四月二十四日	1816	釈放一源空僧士	後藤仙工門	#	#
409	文化十三 <sup>三</sup> 天 <sup>三</sup> 十二月二十七日	#	釈惠輪童子	清西貞娘	#	#
368	文化十五 <sup>三</sup> 天二月十六日	1818	釈樂宣淨休僧女	松本宇右エ門女房	#	藏
345	文化元 <sup>三</sup> 天八月十一日	#	秋華童子	九二	#	#
321	文化元 <sup>三</sup> 天八月二十一日	#	釈益白童子	松本太助子	#	#
335	文化二 <sup>三</sup> 天正月十五日	1819	釋寒霜華僧士		#	#
221	文化三 <sup>三</sup> 天七月二十六日	1820	釈秋峯當岳僧女	後藤常母	#	#
56	文化三 <sup>三</sup> 天八月二十四日	#	釈安樂童子	松本牧太郎	#	#
135	文化四 <sup>三</sup> 天二月九日	1821	釈 <sup>三</sup> 秋室芳光大師	後藤礼藏母	#	安

258	文化六 <sup>三</sup> 天八月二十九日	1823	釈賢南円覚道者	新吉寛		無縫塔
144	文化七 <sup>三</sup> 天六月十六日	1824	僧徳師美山 <sup>三</sup>	甲州八代郡小重 <sup>三</sup> 白福院 <sup>三</sup> 師子	曹	#
14	文化七 <sup>三</sup> 天六月二十八日	#	<sup>三</sup> 白光童子位		位牌	#
411	文化十 <sup>三</sup> 天閏六月十九日	1827	釈夏雲童子	清四郎娘 コロ <sup>三</sup>	#	安
404	文化十三年九月九日	1830	紅蓮円勝僧士	秀助門	#	藏
327	天保三 <sup>三</sup> 天六月十七日	1832	泰雲妙川僧士	後藤兵 國天	#	#
401	天保三 <sup>三</sup> 天六月十七日	#	釈 <sup>三</sup> 秋室川休僧士	長葉子	#	#
241	天保三 <sup>三</sup> 天八月十七日	#	釈秋峯秋勝僧士	後藤林藏	#	#
267	天保四 <sup>三</sup> 天七月七日	1833	釈佛酒童子		#	安
224	天保六 <sup>三</sup> 天十一月二十八日	1835	釈雪蓮童子	郡平子	#	#
242	天保六 <sup>三</sup> 天十二月八日	#	釈 <sup>三</sup> 夢空 <sup>三</sup> 僧女	市作母	#	藏
249	天保六 <sup>三</sup> 天十二月十一日	#	研鐘童子	富助郎	#	安
129	天保七 <sup>三</sup> 天十月二十九日	1836	釈龍伯龍光居士	後藤惣左エ門	#	#
286	天保八 <sup>三</sup> 天六月二十一日	1837	釈 <sup>三</sup> 藤井生信女	ヤシ良女房	#	#
82	天保八 <sup>三</sup> 天八月四日	1838	釈 <sup>三</sup> 經 <sup>三</sup> 紅雲僧女	松針血吉女房	#	#
262	天保十 <sup>三</sup> 天五月十日	1839	淨輝親連僧士		#	藏
22	天保十 <sup>三</sup> 天七月九日	#	実相妙蓮僧士	後藤幸右エ門	曹	安
163	天保十一 <sup>三</sup> 天二月七日	1840	釈安心自鐵法師	<sup>三</sup> 行院母		無縫塔
194	天保十二 <sup>三</sup> 天七月七日	1841	<sup>三</sup> 童子	生地弥惣助子 お文	位牌	藏
225	天保十二 <sup>三</sup> 天七月十七日	#	円光童子	栄三良子	#	#
222	天保十二 <sup>三</sup> 天七月二十一日	#	秋雲童子	栄三良子	#	#
12	天保十二 <sup>三</sup> 天八月十八日	#	円宝秋光僧女		#	安
1	天保十二 <sup>三</sup> 天八月二十七日	#	釈 <sup>三</sup> 宗 <sup>三</sup> 捨 <sup>三</sup> 僧女	井堀枝之助内	#	#
261	天保十四 <sup>三</sup> 天四月五日	1843	釈 <sup>三</sup> 藤 <sup>三</sup> 到 <sup>三</sup> 理 <sup>三</sup> 實 <sup>三</sup> 僧女	作右エ門母	#	藏
220	天保十五 <sup>三</sup> 天正月四日	1844	釈青山円達僧士	後藤栄三良	#	安

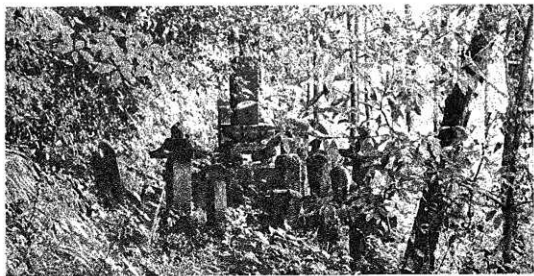
219	天保十五 <sup>三</sup> 年正月五日	1844	乳 泰山妙空信女	園平内	位 牌	安
393	天保十五 <sup>三</sup> 年正月六日	〃	乳 門峯首空信士	後藤郡平	〃	〃
244	天保十五 <sup>三</sup> 年二月三日	〃	乳 青玉珠光信士	後藤作右エ門	〃	凝
405	天保十五 <sup>三</sup> 年二月六日	〃	乳 東山珠光信士	後藤民業	〃	安
263	天保十五 <sup>三</sup> 年八月十九日	〃	乳 知賢童女	茂藤燕	〃	凝
331	弘化三 <sup>三</sup> 年四月九日	1846	乳 柳輪童女	伝之助兼	〃	〃
375	弘化三 <sup>三</sup> 年七月二十七日	〃	乳 秋風 <sup>〇</sup> 僧士	俗名後藤利喜藏	〃	〃
4	弘化四 <sup>三</sup> 年十月十日	1847	乳 寒月妙永信女	後藤貞藏母	〃	安
264	弘化四 <sup>三</sup> 年十月二十七日	〃	乳 寒山殿殿僧士	後藤敏平	〃	〃
271	嘉永元 <sup>三</sup> 年十月二十日	1848	乳 真玉梅貴僧士	後藤梅次良	〃	〃
243	嘉永二 <sup>三</sup> 年十一月十二日	1849	乳 貫内赤道僧士	俗名後藤友藏	〃	凝
391	嘉永三 <sup>三</sup> 年三月六日	1850	有峯一室僧士	後藤市作 <sup>一</sup>	位 牌	〃
324	嘉永三 <sup>三</sup> 年九月二十日	〃	乳 秋山 <sup>〇</sup> 内信女	後藤市作 <sup>才</sup>	〃	〃
195	嘉永三 <sup>三</sup> 年十月二十七日	〃	宿節珠光大師	生地赤慈納妻 日出道中安齋百内孫女 養子梅峯及養女美八坂 奥工藤久太郎女子也	笠塔婆	〃
314	嘉永六 <sup>三</sup> 年六月三十日	1853	乳 秋峯内堂信女	民藏才	位 牌	〃
16	安政二 <sup>三</sup> 年三月十二日	1855	乳 春山妙光信女	後藤清内郎内	〃	安
7	安政二年 <sup>三</sup> 十一月八日	〃	乳 芙蓉清光信士	清四良	〃	凝
268	安政四 <sup>三</sup> 年五月二日	1857	乳 赤那妙蓮神定尼	後藤禎平内	〃	〃
317	安政四 <sup>三</sup> 年八月二十九日	〃	乳 秋山淨光信女	民藏才 <sup>才</sup>	〃	〃
36	安政四 <sup>三</sup> 年十二月十六日	〃	乳 賢翁寛雲信士	伊庭糸助事	〃	安
209	安政六 <sup>三</sup> 年正月五日	1859	乳 春山淨林信士	後藤長平	〃	凝
397	安政六 <sup>三</sup> 年二月十日	〃	乳 英樞 <sup>工</sup> 信士	長造	〃	〃
197	安政六 <sup>三</sup> 年七月十五日	〃	乳 賢翁常休信士	生地頼作墓	〃	冢
88	安政七 <sup>三</sup> 年四月二十八日	1860	内室常光信士	松網里吉	位 牌	〃
276	安政七 <sup>三</sup> 年九月二十九日	〃	乳 門室珠光神定門	後藤英造 <sup>一</sup>	〃	〃

147	文久二 <sup>三</sup> 年四月六日	1862	乳 権律師 <sup>〇</sup> 實 <sup>〇</sup> 地			無塔	冢
117	文久二 <sup>三</sup> 年八月二十四日	〃	乳 秋乃清光信士	後藤礼藏 <sup>一</sup> 同昔金六藏之		冢	〃
260	文久三 <sup>三</sup> 年六月五日	1863	乳 夏黒妙空信女位	後藤長助母	位 牌	〃	〃
123	文久四 <sup>三</sup> 年二月七日	1864	光岳真心信女	謙造才	〃	冢	〃
199	慶応二 <sup>三</sup> 年四月二十一日	1866	胎舟白道居士	生地青十良 <sup>一</sup>		〃	〃
247	慶応三 <sup>三</sup> 年六月二十六日	1867	鎌敬厚郎信士	後藤林作父 徳次郎 <sup>一</sup>	位 牌	〃	〃
236	慶応三 <sup>三</sup> 年十月二十四日	〃	乳 秋香妙榮信女			〃	〃



生地家墓城Aゾーン

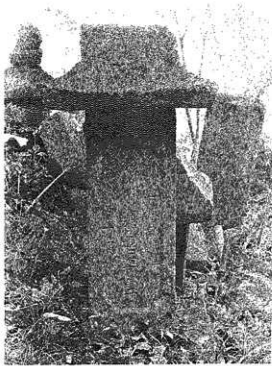




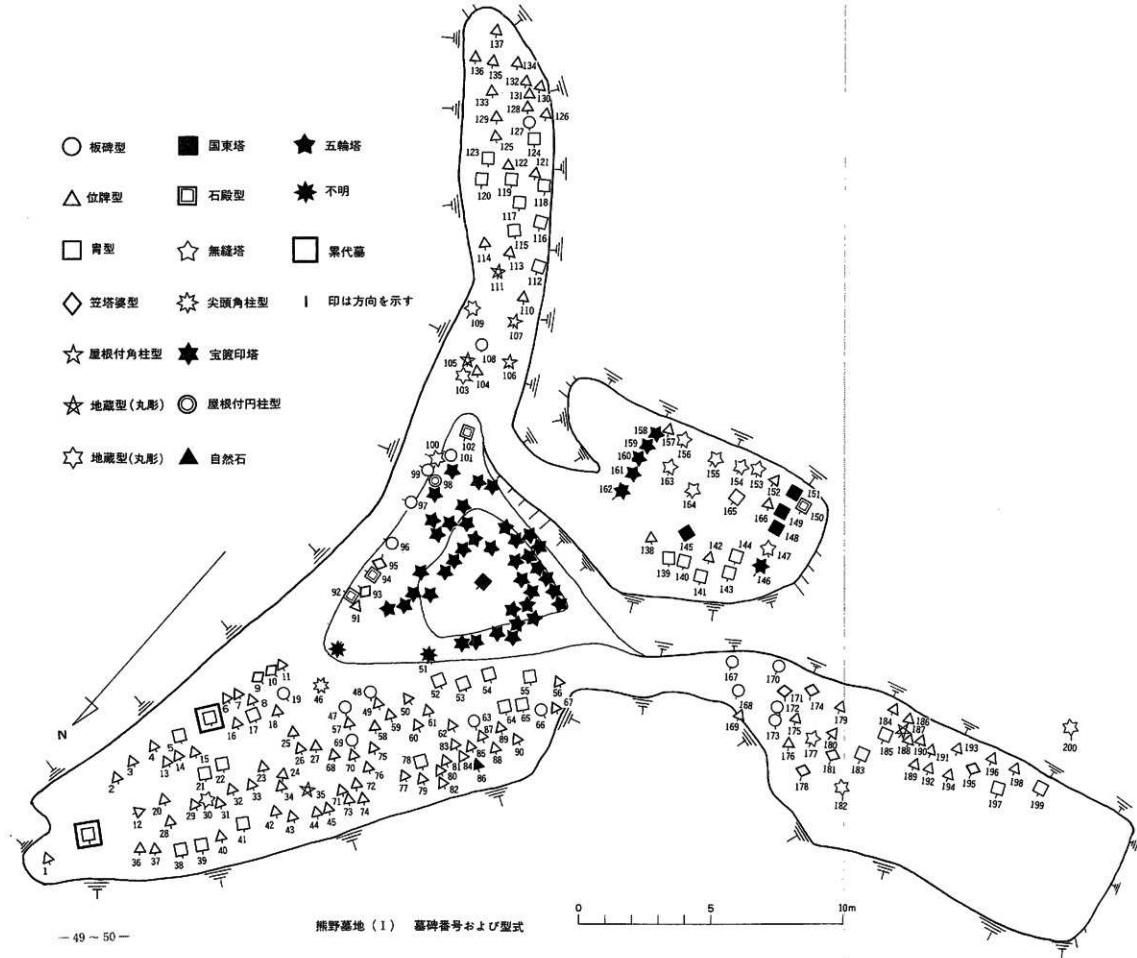
生地家墓域Bゾーン



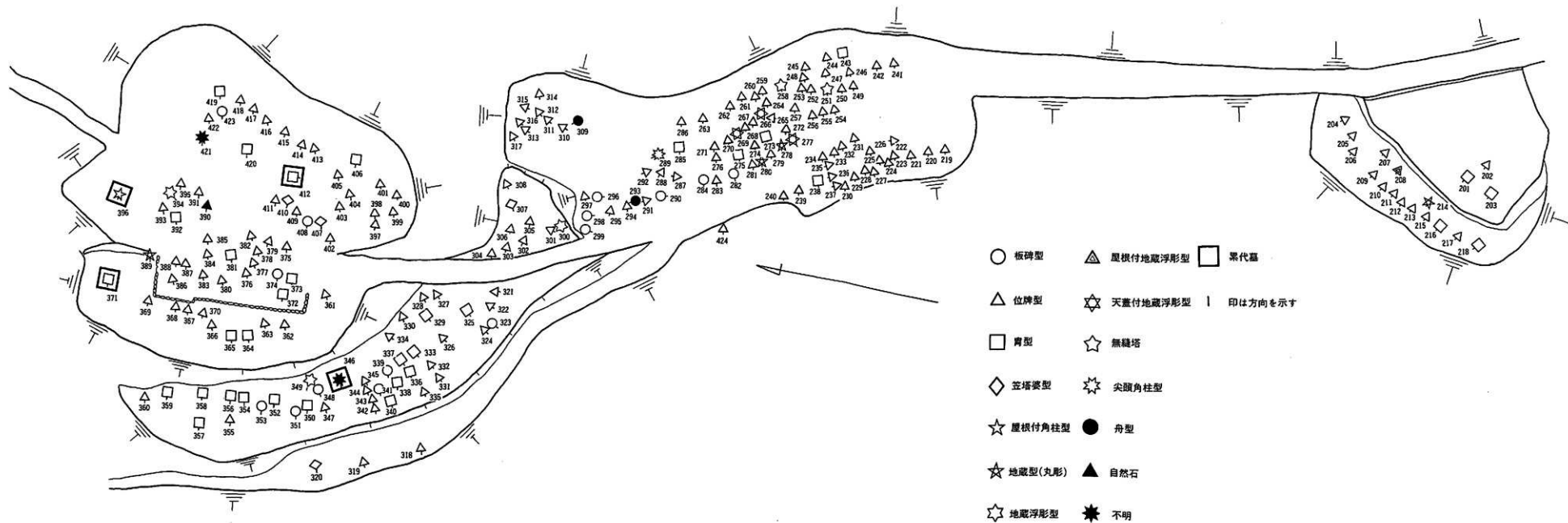
墓碑98 (1706)



墓碑95 (1714)



熊野墓地(1) 墓碑番号および型式



熊野高地(II) 墓牌番号および型式



## 4 明治21年土地利用図と小字境界図

### はじめに

昭和56年度より着手された豊後国田染荘の調査は、中世村落の景観的復原を目的の一つにしている。その手掛りとして表題のような「明治21年土地利用図」と「小字境界図」を作成した。このうち前者については、元禄2年村絵図の復原作業の基礎資料となり、後者については附図(1:10000)に収録した。

特に「明治21年土地利用図」については、『豊後国田染荘の調査Ⅰ』のII-7「近世村落景観的復原—地籍図と村絵図—」(出田和久執筆)に詳述されており、第82図・第84図・第85図でそれぞれ小崎村・中村・観音堂・大曲村について紹介されている。ここでその作成過程について述べておきたい。

報告書第3集『豊後国田染荘の調査Ⅰ』でも紹介しているが、大分県下では明治21年から明治22年にかけて作成した地籍図が現在も法務局の各出張所に保存されている。

この地籍図から明治21年当時の土地利用図と小字境界図を作成することにより、園場整備等の開発が進む以前の明治時代の村落が復原できる。さらに、それ以前の様子をも伺い知ることができ、中継点的な役割をたず資料となるという点においても、この2種の図の作成は非常に重要な意味を持つ。また田染荘のみならず、他地域においても村落遺跡の復原は急を要するものであり、必然的に、土地利用図及び小字境界図も大いに作成し、利用されなければならないといえよう。

田染荘の調査の一環として行なったこの作業は、56年より当資料館で継続的になされてきたが、その作業手順は試行錯誤の連続であった。今ここに、一応の確立をみた手順、作業上の注意点を記しておく。

### (1) 税務課所蔵字図の複写

豊後高田市役所税務課には明治21年地籍図の副本をもとに昭和42年頃作成した字図があり、現在行政事務所に利用している。これは明治21年地籍図と字界線・界線は共通するもので、以下法務局にある明治21年地籍図は法務局字図、市役所の字図は税務課字図と呼ぶことにする。

この字図は、縮尺は $\frac{1}{600}$ で、1枚の紙につき1つの小字を載せている。(領域の小さい小字については2つが併載される場合もある。)そして1枚の小字ごとに資料1のような表示と方位を記入している。資料1の見方は、まず上の字牛王手・下酒屋は、1枚の紙に牛王手と下酒屋という隣接した2つの小字が描かれていることを示し、相原1、2番の1番は牛王手を、2番は下酒屋をさす。この2つの小字は1枚の図として描かれているので、整理番号は1番となる。これらの隣の小字である流田は、小字の通し番号は3番、整理番号は2番となる。このように2種類の番号が使用されていることに注意しなければならない。

資料館では豊後高田市役所に調査協力を依頼する文書を出し、この税務課字図を大字単位で乾式コピーにより複写した。原寸でB4判の用紙を用いたが、ほとんどの字図は用紙におさまりきれず、部分毎に複写した。この際、資料1と方位は必ず落ちないようにした。

#### 資料1 字図表示(大字相原)

大字相原 1.2番	
牛王手	笠屋堂
千下	酒屋
1	
開 延	昭和42年7月10日
縮尺 $\frac{1}{600}$	
大字相原 3番	
千流	田
2	
開 延	昭和42年7月10日
縮尺 $\frac{1}{600}$	

#### (2) 税務課字図複写の縮小

次に作業を行ないやすくするため、当資料館でB4判からB5判の用紙に縮小した。これで70%の縮小となり、字図は $\frac{1}{600}$ から約 $\frac{1}{857}$ となる。

以後はB5判のもののみを使用するが、B4判の方は黒表紙を付けてとじ、「豊後高田市役所 字図 大字相原」と表書きして、照合の必要が生じたために保存した。

#### (3) 縮小字図の作成

B5判の字図を貼りあわせて、1つの小字を作る(資料2)。おもての図中に資料1の略号と方位を書きこむ。資料1の略号は資料2を例にとると、「⑨上屋敷9」となる。縮尺が $\frac{1}{600}$ のものは記入する必要はないが、それ以外の $\frac{1}{1200}$ や $\frac{1}{3000}$ などは図中に注記しなければならない。上述の処理の後、小字図を輪郭にそって切りぬく。この時小字図の周囲に記入されている、隣接する小字名とその通し番号及び隣接する村落名を切り残すようにした。

こうして切りぬいた各小字図は、封筒(ここでは当資料館専用の33cm×24cmのもの)に折りたたんで入れる。折った時、裏面の見える位置に資料1の略号(⑨上屋敷9など)を書く。小字図の裏に依りて封筒がいくつかできるが、それぞれに「西国東郡相原村 No.1~No.3 整理No.1~No.10」のように表書きする。また字図には1冊ごとに小字名に整理番号をふって列記した表がついており、最初の封筒のおもてにこの表を貼りつけた。

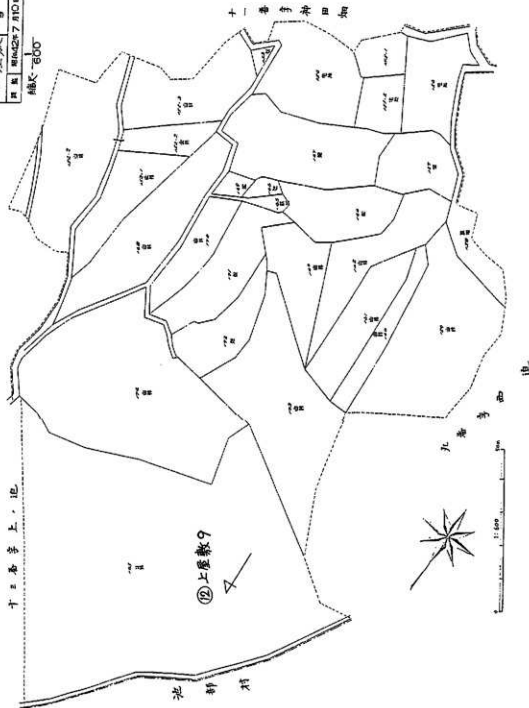
#### (4) 法務局字図との照合

税務課字図は作成過程で省略や錯誤があり、また地目が変化したり分筆されたりするにつれ幾度も訂正を加えているため、明治21年地籍図との間に相違がある。そこで、切り貼りした税務課字図を法務局字図の通りに訂正せねばならない。

法務局字図の冒頭には、凡例と共に字図調製年と製図者名が載っている(資料3)。これを1冊めの封筒のおもてに書く。凡例中及び図中の川・溝・溜池は水色に着色していた。

大字相原 12番	1
上屋敷	9
開 延	昭和42年7月10日
縮尺 $\frac{1}{600}$	

資料2 税務課字図(大字相原字上屋敷)



小字図を1枚ずつ照らしあわせ、①地目、②筆界線、③水路…など、税務課字図を原図の通りに書き直していく。

しかし、法務局字図にも多数の修正の跡が認められる。分筆により墨で線を書き足したり紙を貼り新たに書き直したり、変化した地目は墨でぬりつぶしてあるか、けずりとなっており、田の左に火へんをつけて畑としてある例もある。いずれの場合でも本来の姿をつかんで訂正する必要がある。

法務局字図における「埋葬地」は、税務課字図で「墓地」となっていたため総て「埋葬地」に書き直した。溜池・池沼地・堂地・社地は、税務課字図では線で示されていたが、ほとんどが地目が記入されていない。筆界線すらひかれていない例もあった。また、池・沼は昔から変化しにくいものと判断し、必ず優先して書きとめた。

次に法務局字図の縮尺についてふれておく。各字図には「曲尺巻分ヲ以テ巻間トス」と明記されており、特に注意書きのないもの、つまりほとんどの字図はこれにならう。曲尺は一尺が30.3cmであるから、その巻分=0.303cmを巻間(六尺)とすると $\frac{1}{600}$ となる。以下他の縮尺の相原地区の例をあげておく。

曲尺五厘ヲ以テ巻間トス

字 柳ヶ谷・地藏ヶ尾  $\frac{1}{1200}$

曲尺巻分ヲ以テ貳間トス

字 葉山  $\frac{1}{1200}$

曲尺巻分ヲ以テ五間トス

字 西原河内・三ツ石  $\frac{1}{3000}$

縮尺は、 $\frac{1}{600}$ 、 $\frac{1}{1200}$ 、 $\frac{1}{3000}$ の3種類が用いられている。 $\frac{1}{1200}$ や $\frac{1}{3000}$ は、宅地・田畑等がほとんどなく、一面に山林や原野が広がっている大きな小字に適用されている。相原の西原河内のように、中心部に川にそって田が連なりその周囲が広範囲にわたって原野の場合、周辺部の原野のみを $\frac{1}{3000}$ であらわし、中心部の田は別紙に $\frac{1}{600}$ であらわしているものもある。

#### (5) 縮小字図の地目別色分け

税務課字図を法務局字図の通りに総て訂正しおえると、書き直した地目にそって色鉛筆で色をぬる。ここでこの過程をふいても小字境界図の作成は可能であるが、小字図に色をぬっておくと土地の様子がつかみやすく現地調査や

資料3 法務局字図凡例 (大字相原)



資料4 地目の色分け

水田	緑色
畑地	黄色
池・水路	青色
宅地	赤色
埋葬地	灰色
寺社	桃色
山林	茶色
原野	黄土色
未墾地	肌色
官有地	紫色
株場	橙色
藪	黄緑色

小字界の決定が比較的容易になるため、必ず行なうようにした。色指定は資料4の通りである。

#### (6) 縮小字図の接合

今までバラバラだった小字図をいよいよ1つの大字にする作業が始まる。小字図を一枚一枚床に広げて、ジグソーパズルのようにくみあわせていく(写真)。ここでは、それぞれの字図に書きこんだ方位、周辺に切り残した隣接する小字名が手がかりになる。

しかし何分にも、明治21年当時の測量は平板測測のため誤差が生じやすい。それぞれの小字図もきれいに組みあわず、あちらこちらに隙間ができる。また縮尺も $\frac{1}{600}$ 、 $\frac{1}{1200}$ 、 $\frac{1}{3000}$ とまじっているため、1つの大字は完全な形としてはできあがらない。

#### (7) 小字境界図の作成

次に $\frac{1}{5000}$ の地形図を各大字ごとに切り貼りし、(6)で接合した字図をみながら小字境界線をおとしていく。航空写真測量の $\frac{1}{5000}$ 地形図にくらべ、床に広げた字図は先述のように、どうしても不正確になる。また土地利用も変化しており、小字界をおとすことは非常な困難を要した。それでも田畑については昔ながらの形をとどめているものも多く、一筆一筆たどりながら境界線が引けるが、山間部には縮小字図の接合



ると目安となるものがほとんどなく非常にむずかしくなる。山間部では山の稜線が小字界になっている場合が多い。そのため多少図と違った形になっても、稜線にそって線を引くようにした。こうして小字境界線を引きおわると、地図上に各小字名と小字の通し番号を記入した。

#### (8) 土地利用図の作成

小字境界図とは別に、もう1枚、 $\frac{1}{5000}$ の地形図を用意する。先に色ぬりした小字図をみながらその通りに色をぬり、明治21年当時の土地利用図を作成した。

明治21年と現在との土地利用の変化を大字相原を例にあげてみよう。まず畑地は、明治21年の段階では山間部でかなり広範囲にわたって広がっていたことがわかる。また畑地から水田に開発された箇所も多数認められた。

水田も畑地同様山間部で大きな変動がみられる。明治21年当時本谷の字藪ヶ迫・タフノ木迫・吉ヶ迫には迫田の存在が確認され、また朴ノ木迫・竹之迫にも奥地に小さな水田があり、本谷では北よりも南側斜面において湧水が強いことがわかる。

一方、明治21年土地利用図では字地蔵ヶ尾にある大河内池から大内ヶ迫にかけて畑地が連なっているが、大河内池の存在も確認できる。ここは現在全て水田に開発されており、大河内池は明治22年あまり通らない段階で造築されたものである可能性が高い。

宅地は畑地・水田にくらべさほどの変化はないが、字天久保・横ヶ谷・桜山等では消滅しているものもあり、若干の変動が認められた。

#### (9) 小字境界図(1:10000)の作成

(7)で作成した各大字毎の $\frac{1}{5000}$ の小字境界図を最後に総てまとめて、 $\frac{1}{10000}$ の地形図に小字界をおとしていく。各小字には、小字名と共に小字の通し番号をする。ここに、田染荘全域の小字境界図が1枚になり、完成したわけである。

以上が明治21年の土地利用図と小字境界図作成過程である。完成した地図が明治21年の様子を伝えている。

日々急速なスピードで景観は変化している。圃場整備の影響はもちろんのこと、土地利用図を作ってみてその変化のげしげさに驚く。土地利用の変化は小字界にも少なからぬ影響を与える。例えば、相原にある田染中学校は小石原と流田という2つの小字上に建てられており、今ではその2つの境界線はわからなくなっている。このような場合、現地の古者から聞き取り調査を行う必要があることをつけ加えておく。

#### (附) 豊後国田染組村々絵図



1 豊後国田染組横嶺村絵図(トレース)



2 豊後国田染組小崎村絵図





3 豐後國田染組中村繪圖



5 豐後國田染組真木村繪圖



4 豐後國田染組戸村繪圖



6 豐後國田染組陽平村繪圖





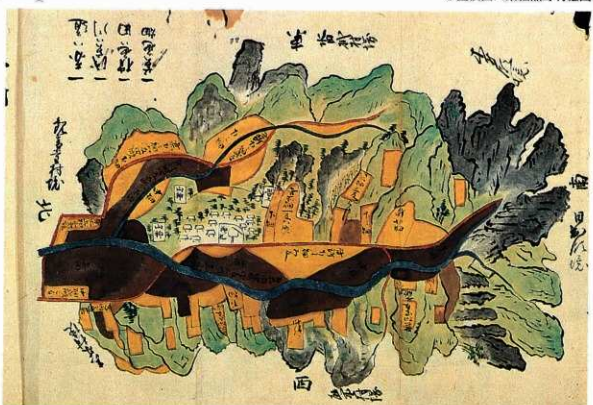
7重後園田染組木村絵図



9重後園田染組熊野村絵図



8重後園田染組野口村絵図



10重後園田染組大曲村絵図



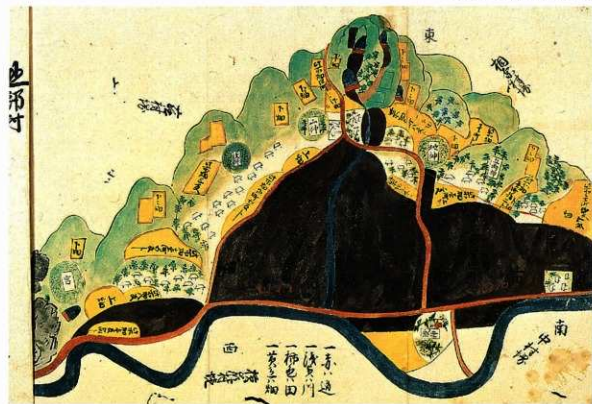
11豊後国田染組観音堂村繪圖



13豊後国田染組相原村繪圖



12豊後国田染組上野村繪圖



14豊後国田染組池部村繪圖

大分県立宇佐風土記の丘  
歴史民俗資料館 報告書第6集

## 豊後國田染荘の調査II

発行日 昭和62年3月31日  
発行 大分県立宇佐風土記の丘  
歴史民俗資料館  
宇佐市大字高森字京塚 〒872-01  
Tel 0978(37)2100  
印刷 合資会社 興栄社  
大分県別府市富士見町10-20 〒874  
Tel 0977(21)4111























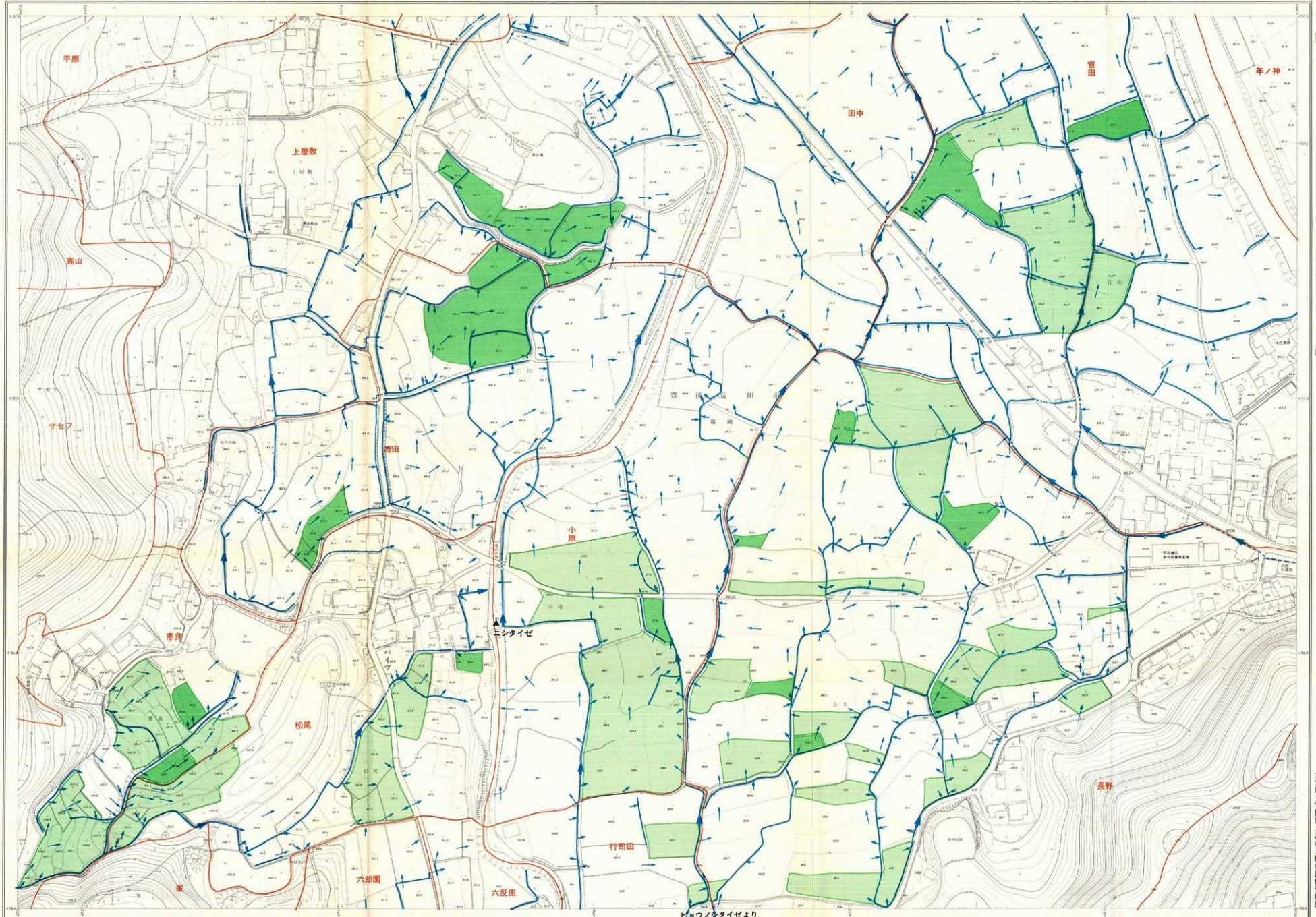








嶺崎地区灌漑詳細図(其ノ三)



行政区域  
 大字界  
 町界  
 村界  
 記号  
 1:2,000  
 大分県立宇佐蔵土記の歴史民俗資料館

大分県立宇佐蔵土記の歴史民俗資料館

大分県立宇佐蔵土記の歴史民俗資料館

● 灌漑施設  
 ● 田舎  
 ● 田舎  
 ● 田舎

1:2,000  
 100 200 300 400 500

凡例  
 強灌田  
 灌田  
 水路



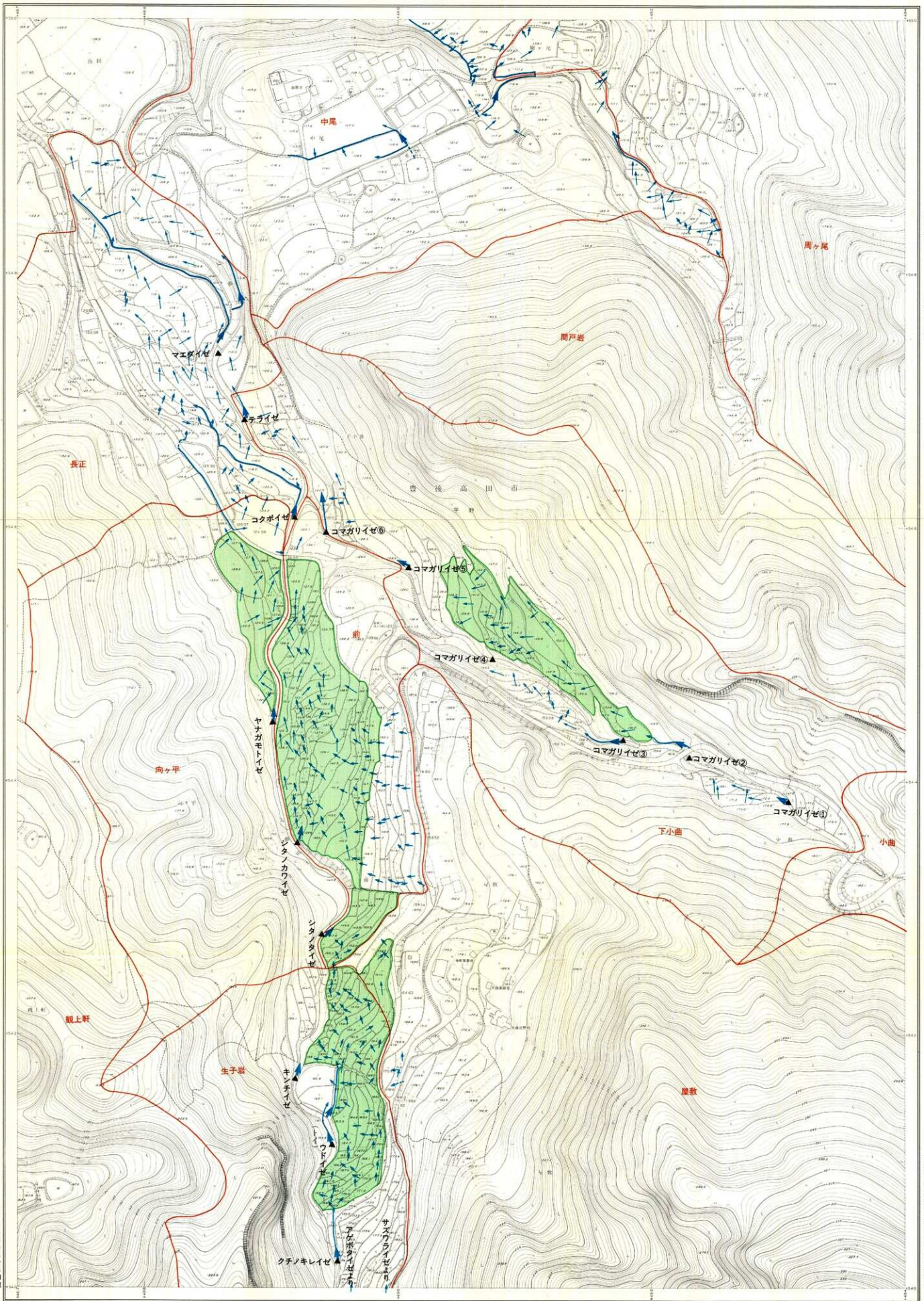








# 大曲地区灌漑詳細図(其ノ一)



1  
2

行政区域  
大曲町  
豊後高山市

記号  
 〇 湧水  
 ▲ 山頂  
 △ 三角点  
 ● 橋  
 ○ 井戸  
 □ 田舎  
 ○ 倉庫  
 ○ 学校  
 ○ 神社  
 ○ 寺  
 ○ 郵便局  
 ○ 診療所  
 ○ 公民館  
 ○ 図書館  
 ○ 役所  
 ○ 警察署  
 ○ 消防署  
 ○ 公民館  
 ○ 図書館  
 ○ 役所  
 ○ 警察署  
 ○ 消防署

大分県立宇佐風土記の庄園史民俗資料館

アジア地産株式会社製

縮尺 1:2,000  
 縮尺 1:2,000  
 縮尺 1:2,000

1:2,000

凡例  
 強灌田  
 灌田  
 水陸







